

提出日:2021年3月1日

公益財団法人 海外子女教育振興財団
AG5 事務局 宛

2020 年度 AG5 報告書

1. 報告者	
(1) 学校名	リオデジャネイロ日本人学校
(2) 氏名	校長: 渡辺 稔 研究主任: 吉村正浩
2. 実施体制	
本校: 校長—研究主任—教員 (サンパウロ日本人学校と連携した)	
3. テーマ	
ICT を活用した遠隔での教育の質向上のためのプログラム開発	
4. 目的と概要	
目的: ICT を活用した遠隔合同研修会・遠隔授業を通して、教育の質を向上させるためのテーマ設定・研修方法・ICT の効果的活用法を開発する。 研究主題: 「多様性を受け入れ、柔軟で豊かなコミュニケーション力をもち、協働できる子どもの育成」 ＊「グローバル人材の育成」をめざし、サンパウロ日本人学校と話し合って決定した。 成果: 遠隔教育（授業・研修）に関するプログラム開発 遠隔教育を実施し、成果と課題、解決策等について整理した。 ＜遠隔授業＞ ＊さまざまな授業形態での遠隔授業の実践 A サンパウロ日本人学校との合同授業（低学年部会、高学年部会、中学校部会） B 外部講師による職業人講話 C 本校の授業や行事 ＜遠隔研修＞ D サンパウロ日本人学校との担当者会議、合同研修会、各部会での話し合い E サンパウロ日本人学校との相互の授業見学 F AG5 の 4 校合同研修会参加 G 自校でのオンライン授業や行事についての情報交換、話し合い、研修等	

5. 今年度実施した取組み(※研究会や出張等は日程も含め記載してください)

- 4月1日 Zoom ミーティングの学校利用40分制限解除について調査、申請
2日 新派遣教員の Zoom ミーティングに関する研修
3日 Zoom ミーティングの脆弱性について検討
遠隔授業を Cisco Webex meetings で行うことを決定
4日 保護者に遠隔入学式、遠隔授業についての事前調査
5日 保護者に遠隔入学式、遠隔授業についての個別説明
6日 保護者に遠隔入学式、遠隔授業についての個別説明
7日 保護者とオンライン接続実験
9日 保護者と入学式リハーサル（オンライン）
Cisco Webex meetings での授業予約教員研修（1～4時間目）
10日 遠隔時間割表作成（各授業 URL をエクセル時間割のセルにハイパーリンクとして設定）
12日 保護者とオンライン接続実験
13日 遠隔入学式（入学生保護者以外は、家庭からオンライン）
14日 遠隔授業開始（教員は学校と日本から接続、8：15～11：40（授業は30分×4時限で、国語、社会、算数・数学、理科、英語、家庭（5・6年のみ）を実施、朝の会、中休み、終わりの会は全校で実施。）。職員打ち合わせも、毎日オンラインで実施。
24日 第7回 AG5 合同研修会
- 5月7日 保護者に「Zoom meetings への移行のお願い」を送信
第1回 AG5 に関する SP・RJ 合同研修会
（小学1・2年、3・4年、5・6年、中学部で教員交流）
* サンパウロ日本人学校を「SP」、リオデジャネイロ日本人学校を「RJ」と表記する
8日 Zoom meetings での授業予約に関する教員研修
11日 中学生は、5時間目の授業開始
12日、13日 保護者に Zoom meetings の設定・説明を個別に実施
14日 遠隔個人懇談
保護者に遠隔時間割（5月18日からの Zoom meetings による授業用。各授業 URL をエクセル時間割のセルにハイパーリンクとして設定）を配布
15日 保護者と Zoom meetings 接続実験
18日 Zoom meetings による遠隔授業開始
25日 第8回 AG5 合同研修会
第2回 AG5 に関する SP・RJ 担当者会議
- 6月1日 RJ 遠隔授業 PMIQ シート運用開始（本校の教員で、遠隔授業に関する、「P（良い・分かったこと）、M（課題）、I（面白い・工夫）、Q（問い）」や「連絡板」に自由に記入し、情報を伝えたり、意見を交換したりするために、Google スプレッドシートを作成した。サンホセ日本人学校の実践を参考にした。）

- 19日 校内授業見学（中1英語：オンライン）
第3回 AG5 に関する SP・RJ 担当者会議
- 24日 SP 中学部ビブリオバトルに本校生徒、教員が参加
第2回 SP・RJ 合同研修会
- 25日 RJ 遠隔時間割表を SP と共有フォルダ（Google suite for Education の本校共有フォルダ）で共有
- 26日 オンライン期末テスト手順等を教員で確認
- 28日 SP 遠隔時間割表を共有フォルダで共有
- 29日 校内授業見学（小1国語：オンライン）
- 30日 校内授業見学（小4国語：オンライン）

- 7月 1日 SP 授業見学（小6理科：SP の授業を RJ 教員がオンラインで見学）
- 2日 SP 授業見学（中2理科）
- 3日 SP 授業見学（小3国語）
職員研修（ゴール階層図）
- 7日 RJ 授業見学（小4国語：RJ の授業を SP 教員がオンラインで見学）
- 8日 SP 授業見学（小4国語）
- 9日 第1回 AG5 ヒアリング
- 10日 SP 授業見学（中2数学）
- 11日 新時間割表（小学生は5時間目まで、中学生は6時間目まで授業）を SP との共有フォルダにアップロード
- 13日 新時間割表（音楽、保体・体育、技術家庭、総合等を追加）でオンライン授業継続
第10回 AG5 4校合同研修会
職員研修（本年度の研究について）
- 14日 SP 授業見学（小5国語）
校内授業見学（中3国語）
職員研修（オンラインでの総合的な学習について）
- 15日 SP 授業見学（小4理科、小4国語）
校内授業見学（小4算数）
- 16日 SP ムビリオバトル（中学部）に参加（中学1年生、教員）
第4回 AG5 に関する SP・RJ 担当者会議
- 17日 校内授業見学（小4社会）
職員会議（8月 SP・RJ 合同研修会について）
- 24日 遠隔終業式

- 8月 10日 遠隔始業式
二学期基本時間割を共有フォルダにアップロード
- 12日 SP 授業見学（小4国語）
総合的な学習の時間のふりかえりを Google フォームで送信

- 14 日 SP・RJ 合同授業（小学 4 年、国語）
- 19 日 AG5 ヒアリング
- 21 日 第 3 回 SP・RJ 合同研修会
- 24 日 SP 授業見学（中学 2 英語）
- 25 日 第 11 回 AG5 4 校合同研修会
保護者に日課及び時間割変更、オンライン授業継続のお知らせ送信
- 27 日 SP・RJ 1、2 年合同研修
- 28 日 SP・RJ 1 年合同授業（自己紹介・絵日記発表）

- 9 月 1 日 新遠隔時間割（全校 6 時間授業）による授業開始
転入生歓迎会（オンライン）
- 2 日 職員研修「今後の AG5 の 4 校合同研修への参加体制、研究の『問い』について
SP 授業見学（中 2 英語）
- 9 日 職員会議（オンライン中間テストについて）
- 16 日 職員研修「研究の『問い』、ピラミッド図」
- 17 日 AG5 ヒアリング
- 18 日 第 12 回 AG5 4 校合同研修会
- 22 日 SP・RJ 高学年部会「総合的な学習の時間の取り組みについて」

- 10 月 1 日 転入生歓迎会（オンライン）
中学部中間テスト（オンライン）
SP・RJ 低学年部会研修
- 3 日 転入生オンライン授業説明
- 5 日 転入生歓迎会（オンライン）
- 7 日 第 1 回職業人講話（オンライン） リオデジャネイロの日系企業の方による講話
- 8 日 SP・RJ 低学年部研修
- 9 日 学校再開説明会（オンライン）
- 14 日 第 2 回職業人講話（オンライン） 在リオデジャネイロ日本国総領事館の領事による講話
- 16 日 学校再開（対面授業とオンライン授業、午前中）
- 19 日 AG5 4 校合同研修会
- 21 日 AG5 ヒアリング
- 23 日 SP・RJ 中学部合同発表会（総合的な学習の時間、SP 中 1、2、RJ 中 1）
- 27 日 SP・RJ 高学年部会の総合的な学習の時間の全体テーマとアンケートについて提案

- 11 月 4 日 リオタイム報告会リハーサル 1
SP・RJ 高学年部会：総合的な学習の時間のテーマ「つながろう、サン・リオ発見
プロジェクト」、事前アンケートの実施について相談
- 7 日 SP・RJ 高学年部会：「総合的な学習の時間 事前アンケート」の実施について依頼

- 9日 リオタイム報告会実施要項変更
リオタイム報告会リハーサル2
- 10日 リオタイム報告会アンケートのお願い（保護者）
- 11日 リオタイム報告会（3つの教室と職員室、保護者がオンラインで接続）
SP・RJ 低学年研修
- 13日 SP・RJ 高学年部会：全体テーマ確認、これからの交流計画について
SP・RJ 高学年部会事前アンケート結果
- 16日 AG5 4校合同遠隔研修
- 17日 SP・RJ 低学年研修
- 18日 SP・RJ 低学年部会研究授業指導案を両校の共有フォルダにアップロード
- 19日 SP・RJ 低学年部会研究授業
- 27日 親子安全教室（オンライン）
- 30日 校内LAN 整備工事開始

- 12月2日 SP・RJ 高学年部会合同授業（総合的な学習の時間、SP 小5、RJ 小3、4、6）
SP・RJ 低学年部会（研究授業ふりかえり）
校内研修（低学年部会研究授業研究協議）
- 7日 PTA 代表委員会（オンライン）
- 10日 SP・RJ 高学年部会合同授業（総合的な学習の時間、SP 小5、RJ 小3、4、6）
AG5 ヒアリング
- 11日 一部オンライン授業（18日まで）日本にいる教員がRJ 対面授業を指導
- 14日 AG5 4校合同遠隔研修
- 18日 終業式（一部オンライン参加）
職員会議（オンライン）

- 1月15日 SP・RJ 高学年部会合同授業（総合的な学習の時間）
中学校部会合同授業（総合的な学習の時間、SP 中1、2、RJ 中1）
SP・RJ 高学年部会：研究授業について
- 18日 AG5 4校合同遠隔研修
- 19日 SP・RJ 中学部合同授業打合せ（中1 国語）
- 22日 SP・RJ 中学校部会合同授業（総合的な学習の時間、SP 中1、2、RJ 中1）
- 26日 SP・RJ 中学部合同授業（中1 国語）
- 27日 SP・RJ 中学部合同授業（中1 国語）
- 29日 SP・RJ 高学年部会合同授業（総合的な学習の時間、SP 小5、RJ 小3、4、6）
SP・RJ 中学校部会合同授業（総合的な学習の時間、SP 中1、2、RJ 中1）

- 2月2日 SP・RJ 中学部合同授業（中1 国語）
- 3日 SP・RJ 中学部合同授業（中1 国語）
- 5日 SP・RJ 中学校部会合同授業（総合的な学習の時間、SP 中1、2、RJ 中1）
- 10日 SP・RJ 高学年部会合同研究授業（総合的な学習の時間、SP 小5、RJ 小3、4、6）

- SP・RJ 中学校部会合同授業（総合的な学習の時間、SP 中 1、2、RJ 中 1）
- 19 日 SP・RJ 中学校部会合同研究授業（総合的な学習の時間、SP 中 1、2、RJ 中 1）
- SP・RJ 高学年部会合同授業（総合的な学習の時間、SP 小 5、RJ 小 3、4、6）
- AG5 4 校合同遠隔研修：研究発表会（2 年次）
- 26 日 SP・RJ 高学年部会合同授業（総合的な学習の時間、SP 小 5、RJ 小 3、4、6）

6. 今年度の成果・効果（※詳細に記載し、成果物があれば添付してください）

<遠隔教育> *さまざまな授業形態での遠隔授業の実践

- A サンパウロ日本人学校との合同授業（①低学年部会、②高学年部会、③中学校部会）
- B 外部講師による職業人講話
- C 本校の授業や行事

<遠隔研修>

- D サンパウロ日本人学校との担当者会議、合同研修会、各部会での話し合い
- E サンパウロ日本人学校との相互の授業見学
- F AG5 の 4 校合同研修会
- G 自校でのオンライン授業や行事についての情報交換、話し合い、研修等

<遠隔授業> *さまざまな授業形態での遠隔授業の実践

A サンパウロ日本人学校との合同授業

①SP・RJ 低学年部会合同授業「しらせたいな・見せたいな」（小学 1・2 年国語）

国語科学習指導案

指導者 リオ日本人学校 内田 真貴
サンパウロ日本人学校 高橋 浩文
サンパウロ日本人学校 荒谷 露乃

1 日時 第一回 令和 2 年 1 1 月 1 9 日（木） 8 時 20 分～9 時
第二回 令和 2 年 1 1 月 2 6 日（木） 8 時 20 分～9 時

2 学級 リオデジャネイロ日本人学校 第 1 学年 （計 3 人）
第 2 学年 （計 1 人）
サンパウロ日本人学校 第 1 学年 1 組（計 17 人）
第 2 学年 1 組（計 14 人）

3 単元名 「しらせたいな見せたいな」

4 単元の目標

○助詞「は」「へ」「を」、句読点の打ち方、かぎの使い方を理解し、文や文章の中でつかうことができる。(知識及び技能)

○学校や街・国について知っていることや経験したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、語と語や文と文の続き方に注意しながら書き表すことができる。(思考力、判断力、表現力等)

○知らせたいものについて2年生に相談したり、文章の順序を工夫したりしながら、リオの1年生との交流会を目指して分かりやすい文章を書こうとすることができる。(学びに向かう力、人間性等)

遠隔授業の目標

相手校の児童とクイズを出し合うことを通して、相手意識をもって発言したり、ブラジルについての気付きや知識を広げたりすることができる。

5 教材観

本単元は、1学期の「おおきくなった」に続いて2つ目の〔書くこと〕に関わる単元である。現在滞在しているブラジル・リオデジャネイロ市やサンパウロ市・所属している学校について、クイズにしたい内容をはっきりさせ、経験したことをもとに必要な情報を集めてクイズの解説を詳しく言えるように設定した。クイズ形式にすることで、相手意識・目的意識をもたせ、書くことへの意欲づけとしたい。まだ促音や長音や助詞が正しく使えない児童が、自分の文章を読み直して間違いに気づき、推敲ができる習慣をつけさせたい。

サンパウロ日本人学校では、クイズの問題作成から推敲に至るまで、2年生の「そうだんしてください」の単元から始めて、1年生の経験では気づかないことを2年生から学ぼう構成した。この協働的な学びが、オンライン授業という環境の中で子どもたちをつなぎ、自信をもって意欲的に学ぶことができるようにしたい。

リオデジャネイロ日本人においては、1、2年生が複式学級として生活しているため、2年生との交流はしやすい環境にある。2年生児童からは、話し方や出題の仕方、文章構成について、アドバイスをもらい、より相手に伝わりやすいクイズとなるよう、子どもたち同士で練り合いながら進めていく。

本時は、各校で取り組んだクイズを2回に分けて発表していく。はじめに、発表を聞く視点について子どもたちに知らせることで、クイズの内容だけでなく、その説明や発表の仕方など、お互いのよいところを見つけ、新たな気付きにつながるようにしていく。振り返りの段階で、それらを自分の言葉で相手に伝える姿を期待している。また、自分自身の発表はどうだったか、次の交流ではどうしていくかを考えさせ、次の交流への意欲につなげていきたい。

6 子どもの実態

リオデジャネイロ日本人学校

4月14日よりオンライン授業を開始した。1年生1名でスタートしたが、現在は3名となった。10月16日より学校が再開し、対面授業となっている。2年生も含めて、4人全員が初めてのリオデジャネイロ日本人学校での生活を送ることになった。実際に顔を合わせて会話したり、交流したりできる喜びを感じながら学校生活を楽しんでいる。

本校は複式学級のため、1、2年生が合同で受ける授業もある。基本的には一緒に過ごしているので、1年生は、2年生の生活態度や言動を手本としながら、取り組んでいる。本単元においても、2年生のアドバイスを受けながら進めることで、自分たちでは気づけなかったことに注目し、新たな発見が生まれることを期待している。

リオ在住歴が1年以上の子どもたちは、サンパウロに行った経験があるが、そこに日本人学校があることは知らなかった。2度の交流で、身近に同世代の子どもたちがいることに親近感を覚えているようである。今回のクイズ大会についても、子どもたちから「サンパウロ日本人学校の友達に知らせたい。」という声が上がった。少人数で過ごしていると、どうしても話したり聞いたりする相手が限られてしまう。多様な意見を聞いたり、触れたりすることができるこの交流授業は、リオデジャネイロ日本人学校にとって、大変貴重な経験だと考える。広い視野で考えたり、自分と違った見方や考え方に気づいたりできるような交流授業にしていきたい。

サンパウロ日本人学校

4月23日にオンライン入学式を迎えた本校の1年生児童は、入学から現在までの7か月間、ZOOMを使用してオンライン授業にて学びを深めてきた。日本に一時避難した児童を含め、ブラジルの朝7時半、日本の夜7時半から開始するオンライン授業にほとんどの児童が参加して少しずつ仲間としての関係が深まっていった。初めての小学校での学習がパソコンの画面を通した学習となり、当初は機器の使用方法や発言をどのように行えばよいか戸惑う児童も多かったが、1学期が終了する頃を迎えると、業間の10分休憩にまだ出会ったことのない友だちに話しかける姿も見られ、子どもたちの環境適応力に驚かされる場面も見られた。

オンラインでの学習が進む中、このような環境だからこそできる他校や異学年との交流により、マンネリ化する授業に刺激を与えて学ぶ意欲を向上させる取り組みを開始した。まずは、本校二年生が学校に通えない状況にある一年生に、本校の様子をクイズで伝えようと「サンパウロ日本人学校クイズ大会」を開催した。児童はこれまでにない目の輝きを見せ、これから通うことになる本校について興味を持つことができた。また、二年生も1年生とオンラインでつながることにより、上級生となった意識を持って学習に取り組めるようになった。

近いようでなかなか交流ができない、同ブラジルにある日本人学校との交流ができたのも、このオンライン授業での成果だと感じている。同じ年の児童が、同じ状況下にあるブラジルで共に学んでいることを知ることができた最初の「自己紹介交流」。その後も、好きなものをクイズにした交流も行い、児童からも「リオのお友だちにとってもっと交流したい。」という声を聞くようになった。

今回の単元では、1年生がブラジルや居住するサンパウロ、またサンパウロ日本人学校のクイズを作成し、2年生にそのクイズの内容や発表の仕方を相談することで、それぞれの学年にあった単元の目標を達成していくという構成を考え取り組んできた。どの交流においても、異学年や他校の児童に相手意識を持って、自分たちの活動を伝えたいという意欲が見られ深い学びへ導いたと確信している。

7. 単元計画（11 時間扱い・本時 9/11）

	学習内容	支援・評価等
1	・（下）P 17 を読み、単元の内容をつかむ。 ・リオ・サンパウロとの合同〇×クイズ大会をすることを伝え、単元の学習問題を設定する。 リオ・サンパウロのともだちに、みつけたひみつを〇×クイズにしてしらせよう！	※子どもの生活経験やこれまでの交流を想起させ、「リオ・サンパウロの友達に、自分が知っているひみつを教えてあげたい」という意欲を高める。 ※2 年生との交流を通して、知らせたいひみつについての理解を確かにしたり、クイズ作成の意欲を高めたりする。 【評】 リオ・サンパウロの友達に知らせたいものを見つけることができる。（思・判・表）
2	・クイズにしたい学校やサンパウロ・リオ、ブラジル等のひみつを探す。	
3	・2 年生にクイズにするひみつの内容について相談し、知らせるひみつを決める。【2 年生との交流①】	
4	みつけたひみつがどのようなものか、よくわかるように〇×クイズをかこう！ ・知らせるひみつについて、詳しく調べる。	※教科書の例文や教師の例示を通して、正しい助詞や句読点等の使い方に着目できるようにする。 【評】 助詞、句読点、かぎの使い方を理解し、文章の中で使うことができる。（知・技）
5	・助詞や句読点の打ち方などを理解しながら、クイズの「問題」「正解」「説明」を文章で表す。	※書いたクイズを声に出して読んだり、2 年生に発表したりすることで、語と語や文と文のつながりを意識できるようにする。
6	・書いたことを2 年生と相談し、必要に応じてより分かりやすい文章に直す。【2 年生との交流②③】	【評】 語と語や文と文のつながりを考えながらクイズを書くことができる。（思・判・表）
7		
8	・本番に備えて、声の出し方や姿勢などを意識しながら発表の練習を行う。【2 年生との交流④】	
9 (本時)		※クイズ大会を2 回に分けて行うことで、全員が発表できる場を設ける。
10	リオ・サンパウロのともだちに、〇×クイズをはっぴょうしよう！ ・クイズ大会で〇×クイズを発表する。（本時 9/11）	※1 回目・2 回目それぞれの時間の最後に発表を振り返る場を設け、分かりやすい文章や発表の仕方に気づくことができるようにする。
11	・2 年生とともに、クイズ大会での発表や単元の学びを振り返り、今後の学習につなげる。【2 年生との交流⑤】 リオ・サンパウロのともだちに、ひみつをばっちりつたえることができたね！	【評】 分かりやすい文章を書いて知らせるよさに気づき、書くことへの意欲を高めることができる。（態）

参考資料（サンパウロ日本人学校2年生）

2年 そうだんにのってください

単元の目標

- 互いの話に関心をもち、相手の発言を受けて話をつなぐことができる。（思考・判断・表現力）
- 共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解することができる。（知識・技能）
- 身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選ぶことができる。（学びに向かう力・人間性）

本時の目標

- 1年生のはっぴょうを見て、よいところを見つけよう。

単元計画（9時間扱い・本時9/9）

	学習内容	支援・評価等
1	友だちのそうだんごとを聞いて、考えを出し合おう。 ・学習の見通しをもち、学習課題を設定する。 ・必ず解決させることが重要なのではなく、話し合って解決を図ろうとすることが重要であることを理解する。	○学習の進め方を確かめ、どんなことができるようになっているとよいのかを具体的にイメージさせる。 【評】学習の見通しをもち、関心をもって相談事の話し合いに取り組もうとしている。（態）
2	そうだんするわだいをきめよう。 ・相談する話題を2、3個決める。	○話題を決める際には、グループで話し合うなどの対話的な活動を取り入れる。 【評】相談するにあたって、ふさわしい話題を決めている。（態）
3	話し合いのしかたをたしかめながら考えを出し合おう。	○話し合ううえで心がける点や話のつなげ方を確認する。 【評】話をつなげるために、話し合いのしかたを理解している。（知・技）
4	・話し合いのしかた（話す人・聞く人のポイント、話のつなげ方）を確かめる。 ・グループで実際に話し合い、相談について考えを出し合う。	【評】自分の考えを話し、話をつなげることができている。友だちの考えと相違を受け止め、話し合いができている。（思・判・技）
5	【交流①②③④】1年生のそうだんにのろう。	○2年生を中心に話題に沿った話し合いができるようにする。 【評】友だちや1年生の考えと相違を受け止め、話し合いのよさを実感している。（態）
6	・話し合いの進行をする。	
7	・クイズ作りで困っていることを聞き、考えを出し合う。	
8	・1年生の意見を聞いてよいところや改善した方がよいところを伝える。	
9	【交流⑤】1年生のはっぴょうを見て、よいところを見つけよう。	○1年生の発表を見て、話し方や聞き方でよいところを見つける。 【評】話し合いのよさやできるようになったことをふりかえり、これからにいかそうとしている。（態）
本時	・1年生のよいところを見つける。 ・自分たちのよかったところやできるようになったところをふりかえり、学習をまとめる。	

※リオデジャネイロ日本人学校2年生は、扱い時数、1年生との交流の仕方等、多少異なるところがある。

8 本時の授業

(1) 本時の目標

国語科の目標【1年】友達の発表を落とさないように集中して聞き、内容を捉えて感想をもつことができる。

遠隔授業の目標 相手校の児童とクイズを出し合うことを通して、相手意識をもって発言したり、ブラジルについての気付きや知識を広げたりすることができる。

(2) 指導過程

段階	予想される子どもの活動と教師の支援・評価 等	
つかむ	みんなが、ブラジルやリオデジャネイロ、サンパウロはかせになるクイズたいかいをしよう。 ※各グループの発表内容や発表のしかたについてのよい点や感想を発表することを事前に伝えておく。	※クイズ→解答→説明の順序で行うことを確認し、クイズの回答の仕方を伝える。
考える	※話し方、聞き方についての既習事項を確認する。 リオデジャネイロ・日学クイズ ・リオ日学の人数を教えたい。 ・日学のひみつをクイズにしたよ。 ・家の前の海のことを知らせよう。 サンパウロ・ブラジルクイズ ・ブラジルにいる生き物のことをクイズにしたよ。 ・リオの人は、「パウリスタ通り」って知っているかな。 サンパウロ日学クイズ ・学校の行事を教えてあげよう。 ・私は、2年生に教室のことを教えてもらったよ。 ・大きな学校だということを伝えたいな。	【評】自分たちや友達のクイズについて関心をもって発表したり聞いたりしようとしている。(態→発言)
深める	それぞれのグループのクイズやほっぴょうのしかたのよかったところや、かんそうをつたえよう。 ・ブラジルの生き物のことは、ちょっと知っていたけど、くわしくわかってよかったな。 ・サンパウロに行ったことがあるよ。人も車も多かったことを思い出した。 ・サンパウロ日本人学校って、大きいんだな。一度行ってみたい。 ・プールや教室、グラウンドも見たい。 ・リオデジャネイロ日本人学校って、とても少ない人数でびっくりした。 ・ひみつのとびらを見てみたい。 ・リオの海に遊びに行きたいと思った。 ・はっきり話していてわかりやすかった。 ・リオのキリスト像のことが知りたい。 ・リオの学校は、どんな学校だろう。	※自分たちや他のグループの発表について評価するワークシートを用意する。 ★なかなか意見が出ない場合には、自分の学校や地域と比べてどうだったか、もっと知りたいことは何か等、投げかける。 ※質問や聞きたいことについては、後日お手紙を書く勉強をすることを伝え、その時に書いてみるよう助言する。
まとめる	クイズたいかいのふりかえりをしよう。 ・ゆっくりははっきり話せた。 ・みんなが喜んでくれたよ。 ・リオに行ってみたって言ってくれてうれしかった。 ・次の時は、もう少し難しいクイズを出そうかな。 ・リオの街のことをもっと調べよう。 ・リオの人たちが楽しめて言ってくれた。 ・2年生のアドバイス通りにできたよ。 ・リオの人たちも、ブラジルの生き物のことをよく知っていたね。 ・2年生に聞いてもらえて、安心した。	※本時の感想だけでなく、今までに2年生に助言されたことについて、どうだったかも振り返るよう投げかける。 【評】友達の発表を落とさないように集中して聞き、内容を捉えて、感想をもつことができる。(思→発言・振り返りシート)

しらせたいな 見せたいな

リオ・サンパウロ
だい1かい
〇×クイズこうりゅうかい

きょうのこうりゅうかいでは・・・

- ① 〇×クイズのはっぴょう
- ② よかったところをはっぴょう
- ③ がくしゅうのふりかえり
(かんそう) をまとめる

〇×クイズはっぴょうじゅん

- | | | | |
|---|-----|---|-----|
| ① | ナ | ⑤ | (リ) |
| ② | (サ) | ⑥ | サ) |
| ③ | (リ) | ⑦ | (リ) |
| ④ | ナ | ⑧ |) |

いま、あつまっているのは・・・

リオデジャネイロ日本人学校 1年生
2年生
サンパウロ日本人学校 1年生
2年生

ともだちのよいところを たくさん見つけて、
じぶんもみんなも レベルアップできるかいにしよう！

サンパウロ日本人学校の児童のクイズに答える



サンパウロ日本人学校の児童にクイズを出す



サンパウロ日本人学校の児童にクイズの説明をする



＜成果＞ ○ 相手意識をもって活動できた。

- ・相手に伝えたい、どう伝わるだろうと思いながら、クイズを考えたり、絵を描いたりできた。クイズを見たり聞いたりした人が、どんな気持ちになるかを考えながら活動した。
- ・相手がリオデジャネイロについてどんなことを知っているのだろうかを考え、それ以外の内容でクイズを考えた。
- ・相手にクイズがよく分かるように、カメラを見て話すようにしたり、話す言葉を選んだりしていた。
- ・絵を見せながら話せるように、絵の裏にクイズの文を書いた紙をはる工夫をした。
- ・発表を聞いた相手に感想や質問、よかった所がしっかり言えた。
- ・相手の話し方のよかった所について学ぶことができた。

○ 相手を知る：相手の地域のことや学校のことを知ることができ、発表している相手のクイズの内容や発表の仕方の良かったところについて見つけることができた。

- ・サンパウロのパウリスタ通りやリオデジャネイロのコパカバーナ・ビーチなどいろいろな場所について知ることができた。行ってみたくなった。
- ・サンパウロ日本人学校の図書室や飼育小屋、リオデジャネイロ日本人学校の人数や秘密の通路など、お互いの学校について知ることができた。まだずっとオンライン授業のため学校の様子を知らないサンパウロ日本人学校の1年生が、リオデジャネイロ日本人学校の1・2年教室の様子を見ることで、学校のイメージが少しできた。
- ・「大きな声でスラスラ言えたのがすごい。」「大きな声でゆっくりと言ってくれたので聞きやすかった。」「聞こえにくい時は、もう一度言ってくれて、よくわかりました。」「人の目を見て、ちゃんと話してくれました。」など話し方の良さを見つけられた。
- ・相手の学校の子の名前を覚えて、下の名前と呼ぶこともあり、親しくなった。サンパウロの児童から、「リオの1、2年生が入ってくれて、楽しかったです。いい発表会になりました。」という感想もあった。一緒に活動する楽しさが味わえた。

○ 校内でも協力：2年生が1年生にクイズづくりや発表のしかたなどのアドバイスをした。2年生もアドバイスすることで成長した。

- ・サンパウロ日本人学校では、4月からオンライン授業だったので、1年生は学校の様子やブラジルの様子がわからなかった。それで、クイズづくりを2年生が手伝った。
- ・2年生が、1年生に、発表の仕方について、大きな声でゆっくりと話すなどの発表の仕方についてのアドバイスをした。2年生が、1年生の発表の仕方について、良かった点について発表し、1年生もうれしそうだった。

- 手立ての工夫：発表する楽しさを感じ、相手の良さを見つけるための手立てを工夫した。
 - ・ この授業の流れや発表する児童の順番と名前、「ともだちのよいところをたくさんみつけて、じぶんもみんなも レベルアップできるかいにしよう！」というこの授業の目標をスライドで示しながら最初に説明したことで、子どもたちに聞くポイントを効果的に伝えられた。
 - ・ クイズ発表の半分が終わったときに、この授業で発表する児童の名前を書いたスライドを提示し、これまでの発表について振り返る時間を持ったことは有効であった。

<課題> ○ 子どもたちにとっての「身近な題材」を選択するのが難しい

- ・ 子どもたちの振り返りの発言から、児童が興味を持つのは「学校に関係すること」が多かった。

○ オンライン授業と対面授業を合わせた授業形態の難しさ

- ・ SP は、全員が自宅からのオンライン授業であるが、本校は教室での対面授業であった。
- ・ SP と同じように、1人1台の端末を使用したり、1つの教室で発表用と全体用の2台の端末を使ったりしようとした。しかし、事前に試してみると、大きな音でハウリングが起こったり、回線状況が悪くなり各端末が接続できなかったりした。そのため、教室に1台のノートパソコンをテレビに接続して合同授業を行った。
- ・ RJ は、カメラを1台しか設置することができなかったため、自分が発表している時は相手の様子が見えなかった。また、カメラから遠い児童の表情が読み取りにくく、カメラから遠い教員に声をかけるタイミングが難しかった。相手意識を持って話をさせる場面設定の難しさを感じた。⇒可能であれば、リオでも一人一台で画面に映ったほうが、相手の表情を見ながら話すことができたかもしれない。
- ・ RJ の児童はマスクをかけているので、表情が伝わらない難しさもあった。

○ 児童振り返りタイムの手立ての工夫が必要

- ・ 1 授業 8 人～10 人がクイズを行い、4、5 人が終わるごとに振り返りタイムをとった。振り返りのときに、子どもたちが最初のクイズについて忘れてしまっている様子があった。振り返りの前に、クイズの内容や絵を共有して思い出させる時間が必要だった。
- ・ 振り返りは、発表の仕方に関すること、内容に関すること、二つに分けて整理して話をさせると、さらに深まりがあったのではないかと。

②SP・RJ 高学年部会合同授業「つながろう、サン・リオ発見プロジェクト」

(RJ 小学3、4、6年(4名)、SP 小学5年 総合的な学習の時間)

「総合的な学習の時間」学習指導案

指導者 リオデジャネイロ日本人学校 吉村正浩
リオデジャネイロ日本人学校 松平 豊
リオデジャネイロ日本人学校 桑原茂樹
サンパウロ日本人学校 大谷文人

1 日 時 令和3年2月10日(水) 8時20分～9時5分

2 学 級 リオデジャネイロ日本人学校 第3学年(1名)
第4学年(4名)
第6学年(1名)
サンパウロ日本人学校 第5学年(11名)

3 単元名 「つながろう、サン・リオ発見プロジェクト」

4 単元の目標

- サンパウロやリオデジャネイロについて、主体的に調べ、話し合い、発表をすることができる。
- 遠隔で協働して活動することにより、お互いの考えの多様性を受け入れ、柔軟で豊かなコミュニケーションができる。

5 教材観

この単元では、遠隔でサンパウロとリオデジャネイロの日本人学校で総合的な学習の合同授業を行うことで、他の学校の児童と話し合い、協働する活動を通して、多様な考えに触れることができ、コミュニケーション力が高まると考えた。

内容を「つながろう、サン・リオ発見プロジェクト」というタイトルで、自分たちの住む地域について調べたことを伝えあったり、話し合ったり、まとめて発表したりする活動に取り組むことで、より広く深く地域について調べてみたいという意欲を高めたい。

今までは、各学校だけで総合的な学習の時間に取り組み、発表してきた。今回は一つのテーマについて、合同で取り組み、話し合いを重ね、発表会を行う。

さらに、発表したことを発信したり、行動したりする活動につなげていきたい。

6 児童観

<リオデジャネイロ日本人学校>

本校の児童生徒数は、小中学校合わせて12名である。同じ学年の児童がいなか、少人数である。他の学年の児童や中学校の生徒とも家族的な強いつながりがあり、異学年交流も多い。しかし、本校だけの授業では、児童同士による話し合いや多様な意見に触れる機会が少なく、コミュニケーションに苦労しなくても意見や気持ちを伝え合えることが多い。

事前のアンケートでは、友達と協働する学習は好きだが、うまくいっていないと感じている。サンパウロだけでなく、自分たちの住んでいるリオデジャネイロについても、興味をもって調べ、もっと知りたいと思っていると考えられる。

今年度は、新型コロナの感染拡大により、4月から10月まで、自宅からのオンライン授業であった。学校に登校することができなかったり、自由に散歩することが難しかったりする状況が続いた。また、ブラジルから日本に帰国せざるを得なかった児童生徒も多い。そのため、また、自分たちの住んでいるサンパウロやリオデジャネイロについて、十分に知る機会が少なかった。しかし、自分たちの住んでいる地域やブラジルについての理解は浅いが、調べてみたいという意欲があり、総合的な学習の時間には、積極的に取り組んでいる。

オンライン授業では、Google スライドの作成については、個人差が大きいが数回は取り組んでいるので、戸惑いは少ないと思われる。

【事前アンケート(小学3・4・6年生6人)】

「総合的な学習の時間は好きですか」(好き：2人、少し好き：3人、少しきらい：1人)

*「少しきらい」の理由：自分で考えるのは苦手だから。

「友だちと話し合ったり、力を合わせたりして学習することは好きですか？」

(好き：5人、少し好き：1人)

*「少し好き」の理由：なかなかまとまらないから。だれかが、話し始めないとなかなか進まないから。

「友だちと話し合ったり、力を合わせたりして学習することは、今、自分でできていると感じますか？」

(できていると感じる：3人、できていると少し感じる：1人、

できているとあまり感じない：1人、できているとほとんど感じない：1人)

*「できているとほとんど感じない」の理由：学年で今自分一人しかいないから。

「リオデジャネイロのことをどのくらい知っていますか。」

(よく知っている：2人、少し知っている：4人)

「サンパウロのことをどのくらい知っていますか。」

(少し知っている：2人、あまり知らない：1人、ほとんど知らない：3人)

<サンパウロ日本人学校>

本学級は全体的に大人しいが、素直な児童が多い。4月から Zoom を使用してのオンライン授業が始まり、現在は対面授業とオンライン授業とを併用しながら学習を続けている。最初は機器の使用法や学習の受け方に戸惑いがあったようだが、現在では学習の際に資料を画面共有して話し合いをしたり、必要に応じてチャット機能を使って学習したりするなど、効果的に機能を使いこなしながら学習を進めている。総合的な学習の時間においても自分からすすんで調べ学習を進めたり、意見を述べたりしながら学習を進めることができている。

アンケートの結果から、友達と話し合ったり、力を合わせたりして学習することは好きだが、直接会っている時と違い、オンライン上での学習においては、それがうまくできていないと感じている児童がいる。

この点に関して、まず子どもたち同士が話しやすい関係を築くとともに、互いに協力し合って学習をしていけるような課題や手立てを用意していく必要がある。また、サンパウロのことは大体知っているが、リオデジャネイロのことを知らない児童も多いので、興味・関心をもって主体的に学習し、2つのまちのことをより知ることができるような指導の工夫や学習の手立てが必要であるとする。

【事前アンケート(小学5年生11人)】

「総合的な学習の時間は好きですか」(好き、少し好き：11人)

「友達と話し合ったり、力を合わせたりして学習することは好きですか」

(好き、少し好き：11人)

「友達と話し合ったり、力を合わせたりして学習をすることは今、自分でできていると感じますか」(できていると感じる、少しできていると感じる：8人)

できていると感じない：3人)

*「できていると感じない」の理由：「オンラインで、うまく話せていないから」等
「サンパウロのことをどのくらい知っていますか」

(よく知っている、少し知っている：10人)

「リオデジャネイロのことをどのくらい知っていますか」

(よく知っている、少し知っている：5人)

7 指導観

両校の児童が、サンパウロとリオデジャネイロのことをもっとよく知り、多様な考えに触れ、コミュニケーション力を高めるために、この遠隔合同授業「つながろう、サン・リオ発見プロジェクト」を計画した。

遠隔で合同授業を行うにあたり、最初は、自分の意見をいうのをためらったり、みんなの意見を調整することがうまくできないことが予想されるので、子どもたちの話し合いを活発にするには、時間的なことや授業形態による工夫が必要である。

サンパウロ日本人学校とリオデジャネイロ日本人学校は、時差はないが、学校の授業時間や授業形態(本校は対面授業だが、サンパウロ日本人学校はオンライン授業である)に違いがあり、合同授業を行うには、難しい状況がある。

遠隔授業には、トラブルやデメリットもあるが、逆にコミュニケーションしづらい状況で、あまり知らない人どうしだからこそ、しっかりとしたコミュニケーションが求められる。また、児童それぞれも工夫しないと伝わりにくいことも感じているだけに、がんばって自分の意見を伝えようと工夫することが多いと考えられる。

4つのグループに別れての作業が多く、教員がそれぞれの進捗状況等が把握しにくいのが、作業途中のそれぞれのグループのGoogleスライドを見合ったり、授業の録画を見たりすることと、連絡を密にして取り組んだ。

それぞれのグループのテーマに沿って、各自で調べたり、スライドを作ったりすることと、合同授業で情報を伝えあったり、話し合ったりする活動を組み合わせることで、子どもたちに遠隔で協働する体験をさせたい。情報を共有し、協働するためのツールとして、Googleスライドを有

効に使用したい。

子どもたちの話し合いを活発にしていくように、合同授業の最初にその時間の目標と流れを確認する。また、グループ活動の終了後、各グループの進捗状況を確認したり、感想を発表することで全体での情報共有を図ることを大切にする。

「つながろう、サン・リオ発見プロジェクト」4つのグループ

* () 内の人数は、合同授業に参加予定人数である。

事前アンケートをもとに、本人の希望を聞きながら分けた。

【グループA】担当：RJ 桑原 <観光・食べ物>

SP：5年3名（2名）、RJ：3年1名、4年1名

【グループB】担当：RJ 松平 <歴史・行事>

SP：5年4名（2名）、RJ：4年2名

【グループC】担当：SP 大谷 <生活>

SP：5年3名（2名）、RJ：6年1名

【グループD】担当：RJ 吉村 <自然>

SP：5年2名、RJ：4年1名

8 単元計画

	学習内容	支援・評価等
第1次 オリテーション (3時間)	・「つながろう、サン・リオ発見プロジェクト」の目的と計画を知らせ、サンパウロとリオデジャネイロと一緒に調べる内容について考え、4つのグループに分かれる。 ・合同授業でお互いに知り、それぞれのグループで調べるテーマについて考える。	・この単元の目的と計画を知らせることで、合同授業で何をどうするかの見通しを持たせ、テーマについて積極的に調べる意欲を高める。 ◆評価：ふりかえりカード
第2次 情報収集 情報交換 (5時間)	・個人でテーマについて調べる。 ・グループで1つの Google スライドに調べた情報を書き込んでいく。 ・4つのグループそれぞれで調べた情報について、発表して、質問や意見を言い合う。	・プレゼンテーションに書き込んだ情報を確認するとともに、整理して、次の活動への見通しを持たせるための話し合いを ◆評価：観察、ワークシート、Google スライド、ふりかえりカード
第3次 発表会準備 (2時間) 本時 1時	・集めた情報で、クイズを考える。 ・発表方法や発表担当を決めて、練習をする。	・発表会で割り当てられた時間で発表できるように、時間調整をする。 ◆評価：観察、Google スライド、ふりかえりカード
第4次合同発表会 (1時間)	各グループの発表を相互に聞き合い、感想を言う。	・グループ発表 ◆評価：Google スライド、ふりかえりカード

8 本時の授業

(1) 本時の目標

○よりよい発表にするために、協力して、他の人が調べた内容をもとにクイズを作る。

(2) 展開

	学習内容	支援・評価等
つかむ	1 今日の活動の目的や内容について知る。	・スライドで今日の目標と流れを説明することで、グループでの活動をしやすいとする。
	よりよい発表のために、発見クイズをみんなで考えよう！ 「発表会に向けて、他の人が調べた内容について、クイズを考えよう！」	・よりよい発表にするための準備として、グループの他の人が調べた内容についてのクイズを考え、みんなで協力することを確認する。
考える・話し合う	2 サン・リオ発見クイズを作る ・だれの調べた内容について、クイズを作るかを相談する。 ・自分の担当するクイズについて考える。 ・クイズを発表し合って、さらによくするにはどうしたらよいか協力して考える。 (友達の見解などをメモしておく。)	・zoom のブレイクアウトルームで、4つのグループに分かれる。 ・相手の情報をもとに、クイズを作ることが理解しにくい児童には、話し合っていて考えていくことを確認する。 ・わかりやすい内容のクイズを作るための話し合いが進むように、声かけをする。
まとめる	3 今日、協力できたことについて、ふりかえる。	・各グループ1名に、今日の活動のふりかえりを発表させることで、各グループの様子を共有する。 ・次回の合同授業までに必要であればスライドを作っておくことを確認する。

(3) 評価：ふりかえりワークシート（Google フォーム）を、授業後に記入させる。

- ・話し合いに積極的に参加できたか
- ・他の人のクイズ作りに意見を言えたか
- ・他の人の情報や意見をもとにクイズ作りができたか。

(4) 機器の環境設定等について

- ・リオデジャネイロ日本人学校がホストになり、Zoom の会議を設定する。
サンパウロ日本人学校の児童は、ID とパスワード、接続 URL で接続する。
- ・研究授業は、インターネットの接続をよくすることと、授業に集中するため、授業者と児童のみ接続する。

- ・ブレイクアウトルームに別れてから、途中で接続が切れて入り直す児童が、メイン画面に入ってくるので、担当者がブレイクアウトルームに振り分けられるように、ブレイクアウトルームに接続する端末とは別に、その操作ができる端末を準備しておく。

- ・リオデジャネイロ日本人学校は、次のように機器を設置する。

4 年教室 A グループ 教員 1 名、児童 2 名

液晶テレビにノート P C (zoom 接続) を接続 ローカル録画用

児童 2 名は、作業用に iPad を 1 台ずつ持つ

特別教室 B グループ 教員 1 名、児童 2 名

液晶テレビにノート P C (zoom 接続) を接続 ローカル録画用

児童 2 名は、作業用に iPad を 1 台ずつ持つ

6 年生教室 C グループ 児童 1 名 iPad (zoom 接続)

3 年生教室 D グループ 教員 1 名 ノート P C (zoom 接続) 参加者振り分け等用

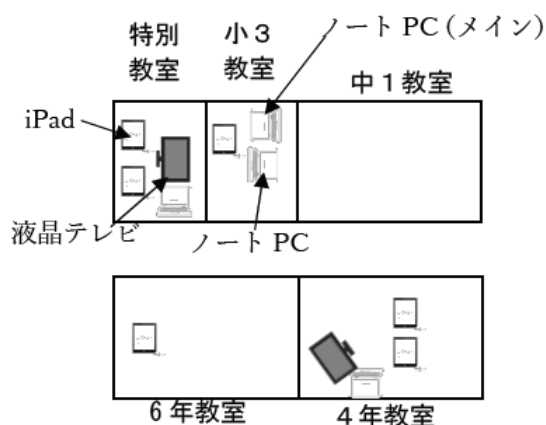
ノート P C (zoom 接続) ローカル録画用

児童 1 名 iPad (zoom 接続)

- ・サンパウロ日本人学校は、各家庭から、1 人 1 台で zoom 接続をする。

<RJ> 3 つの教室での対面授業

<SP> 各家庭からのオンライン授業



今日の学習の流れと活動目標の確認

〇2時間目(総合)① 2/10(水)

つながろう・サン・リオ発見プロジェクト

今日の学習の流れ

- ①全体の学習の流れの確認
- ②前回までの学習の確認
- ③今日の学習のめあての確認
- ④ブレイクアウトセッションに分かれて、発表のための準備をする。
→8時55分まで
- ⑤今日の学習のふりかえりをする。
- ⑥のちほどふりかえりシートにふりかえりを記入する。

〇2時間目(総合)② 2/10(水)

つながろう・サン・リオ発見プロジェクト

今日の学習のめあて・よりよい発表のための準備をしよう。
今日は、サン・リオ発見クイズをみんなで考えよう！

クイズをつくる時の考える時のポイント！

・相手の学校の子が調べた内容について、協力して、話し合っ
てクイズをつくる。



協力して、
たくさん
話し合
おう!!

クイズを考える流れ

- ①だれの調べた内容について
だれが中心に担当するのか決
める。
- ②担当に分けたクイズについ
て、順番にみんなで話し合っ
てクイズをつくる。
(話し合いを中心にする。)

4つのグループがブレイクアウトルームに分かれて活動をする。

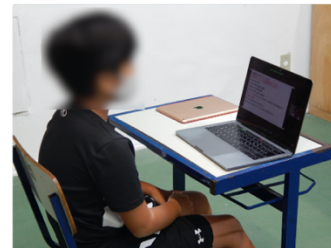
Aグループ（観光・食べ物）



Bグループ（歴史・行事）



Cグループ（生活）



Dグループ（自然）

クイズについて、みんなで話し合う



クイズについて、左の児童は、紙に他の人の意見を書いて話し合っている。右の児童は、画面共有している Google スライドにクイズを作りながら話し合っている。

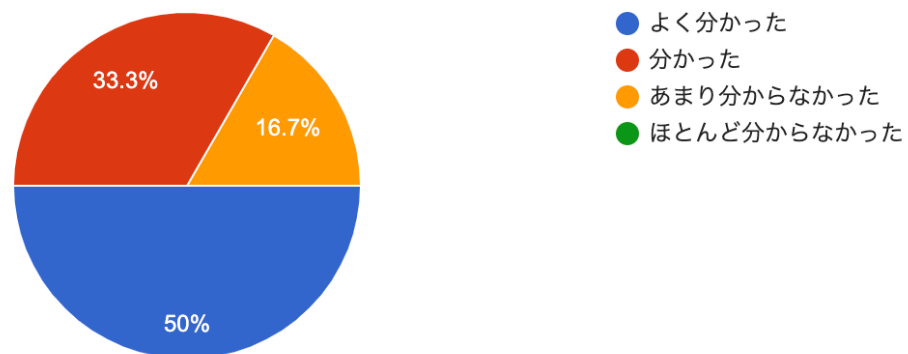
【合同授業】 8 : 20 ~ 9 : 00

- 12月 2日(水) SP・RJ 合同授業① オリエンテーション、調べるテーマを決める
9日(水) SP・RJ 合同授業② 調べる分担を決める
1月29日(金) SP・RJ 合同授業③ 調べた内容の交流
2月 5日(金) SP・RJ 合同授業④ 調べた内容の交流
10日(水) SP・RJ 合同授業⑤ 研究授業 クイズを考える
19日(金) SP・RJ 合同授業⑥ 発表会準備
26日(金) SP・RJ 合同授業⑦ 発表会

【12月2日】児童のふりかえりアンケート(RJ)から

1①今回の「つながろう、サン・リオ発見プロジェクト」の交流の目標が分かりましたか？

6件の回答



1②今回の交流の目的はどんなことですか。

＜あまり分からなかった＞

- ・良く分からなかった。

＜分かった＞

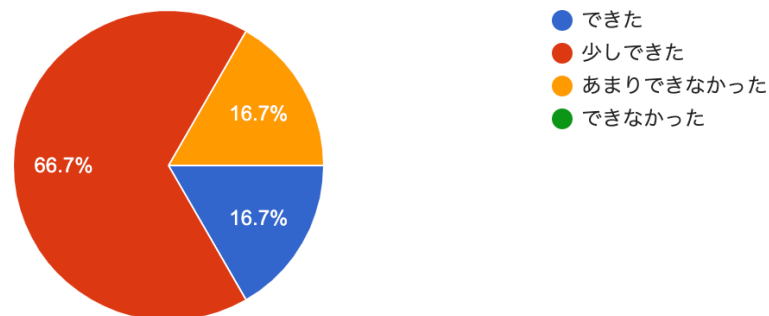
- ・動物について
- ・何をやるかを決めることです

＜よく分かった＞

- ・サンパウロとリオデジャネイロの違いを調べる
- ・サンパウロとリオデジャネイロの生徒たちが仲良くなれるようにする。
- ・何を具体的に調べるかを消める

2① 友だちと話し合ったり、力を合わせたりして学習することができましたか？

6 件の回答



2② それはどうしてですか。（理由）

6 件の回答

話し合いが進まないから。

それはサンパウロの人が言ったことで何ができるかで僕が言ったことで、これとこれをいっしょにした方がいいんじゃないとかを話し合って決まったからです。

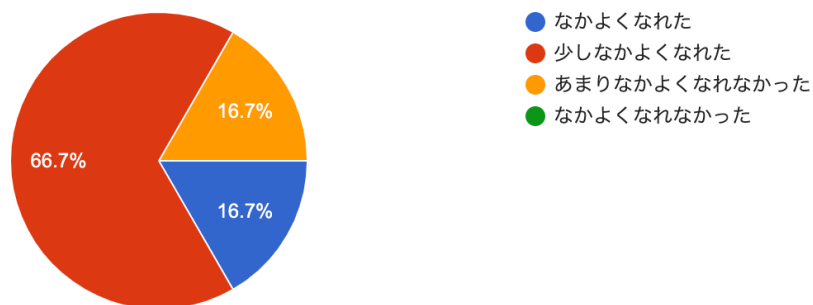
話し合うことは、できたけど、なかなか進まなくて、少ししかできなかった。

友達が、調べるのを協力してくれたからです。

インターネット接続が悪かったから。

3① 他の学校の人と仲良くなれましたか？

6 件の回答



3② それはどうしてですか。

6 件の回答

サンパウロとなかよくなるのが目的だから

そんなに一緒に喋らないしそんなにいっしょにいても楽しくない感じがしたからです。

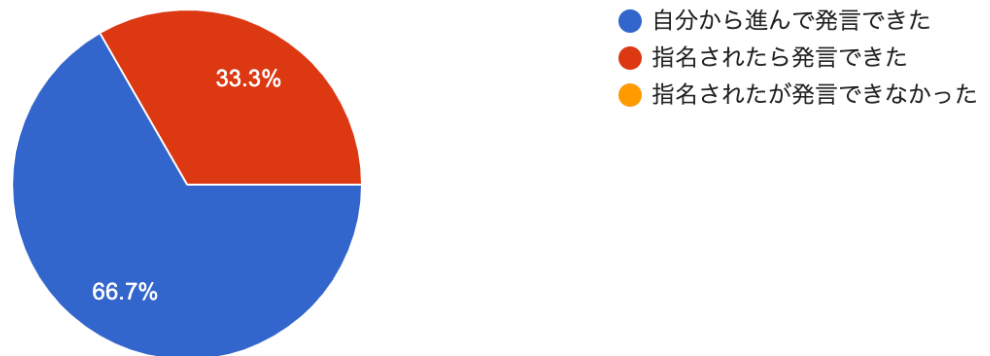
なかなか進まなかったから、話も少ししかできなかった。

優しくしてくれたり、サンパウロのことを色々と、教えてくれたからです。

初めての交流の時よりも沢山話すことが出来たと思ったから。

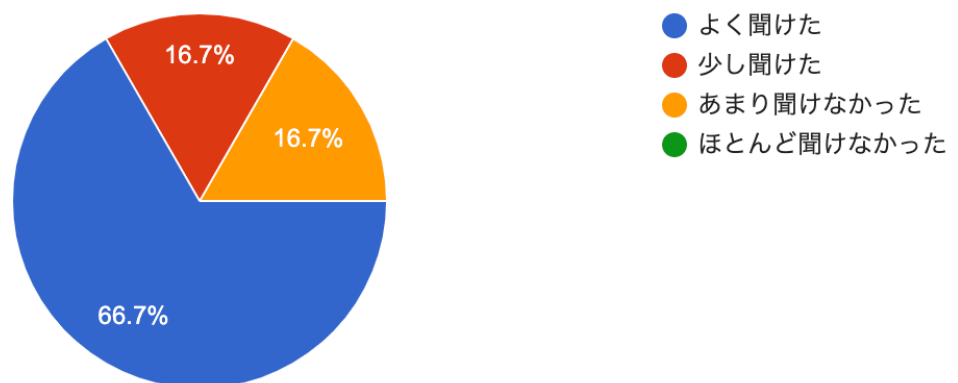
4① 自分から進んで発言できましたか？

6 件の回答



5① 他の人の意見をしっかり聞けましたか？

6 件の回答



5② それはどうしてですか。（理由）

6 件の回答

次に役立つと思ったから。

それはサンパウロの人が言ったことに賛成や反対や付け足しがいっぱい言えたからです。

Zoomでインターネットの接続が悪くて、相手の声がよく聞こえなかったから。

声を大きくゆっくり話してくれたからです。

インターネット接続が悪かったから。

6 オンラインで話し合うときに、気をつけることはどんなことですか。

6 件の回答

話をちゃんと聞くこと

声を大きくとマイクの近くで話すことです。

インターネットの接続が悪くなる可能性があるから、相手の言っていることをもっと良く聞こうとすること。

声の大きさに気をつけることと、人の話を、よく聞くことです。

直接会って話しているわけじゃ無いから、わかったかどうかしっかり反応する。

全員が、オンラインでの話し合いの難しさと、コミュニケーションの工夫を意識している。

7 今回のオンライン交流で、自分のよかったことについて、書きましょう。

6 件の回答

動物について詳しくなれた。

自分から進んで発言を言えたしサンパウロの人が言ったことに賛成や反対を言えたことです。

出来るだけ、発言するようにした。
発言するときは、出来るだけ大きな声で話すようにした。

自分から少し話したことと、人の話をよく聞いたことなどなどです。

インターネット接続が悪かったからあまり話せなかったけど、自分なりにしっかり調べた。

9 今回のオンライン交流をふりかえて、感じたことや考えたことなどを書きましょう。

6 件の回答

「多様な意見に触れるよさ」を感じている。

とても楽しかったからまたやりたいと思った。

今回のオンライン交流で色んな意見を言って「これをこれといっしょにしたらいいい」とかもっといっぱいやれることがあるかなと考えました。

自分だけでは思いつかない意見も出たから、一緒にするという事は、大切だと思った。

サンパウロの人が、食べ物の違いを話してからこんな所や、こんな食べ物があるんだとか、はじめて知ったことがわかった。

インターネット接続が悪いけど、出来る限り色々なことを調べたいと思った。

10 次のオンライン交流で、「やりたいこと」や「こうすればよいと思うこと」、「がんばりたいこと」などについて書きましょう。

6 件の回答

全員が、次回の合同授業に意欲的である。

動物のいろんなことを話し合いたいと思った。

決まったことを調べることもっとサンパウロの人と仲良くなりたいです。

調べることをもっとはっきりさせたい。

次からは自分から話したいです。たくさん発表をしたいです。

やりたいこと、、、チームでしっかり話し合いたい。
こうすれば良いと思うこと、、、お互いが調べた事をスライドに残す。
がんばりたいこと、、、チームのみんなにリオの生活についてわかりやすく教える。

【2月10日】研究授業 児童のふりかえりアンケートから

1 今回の活動の目的はどんなことですか。

発見クイズを作る

問題作り !!

それぞれの学校が調べた事を問題にする。

問題を、考えることです。

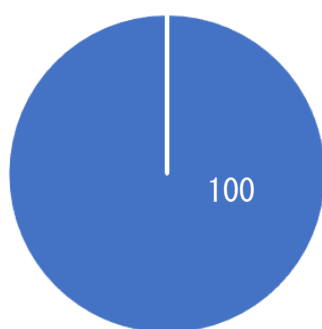
協力してクイズ作ること

協力してクイズをつくること

全員が、授業の目的を把握できた。。

2 ①今回の活動は楽しかったですか？

6件の回答



● とても楽しい
● 少し楽しい
● あまり楽しなかった
● 楽しなかった

全員が、とても楽しいと感じている。

2② それはどうしてですか。(理由)

みんなで話し合って決めたからです。

話し合いがたくさんできたから！

自分の意見を踏まえてみんなで一緒に問題を作る事が出来たから。

クイズをみんなわかりやすく作っていたからです。

みんなと話してクイズを作れたから良かった。

全員で話し合いが、できて、楽しかった。

3① 自分から進んで活動できましたか？

自分から進んでできた（4名）

少しだけ自分から進んで活動できた（2名）

自主的にできたと感じている。

4 他の人が調べたことについてクイズを考えられましたか。

他の人が調べたことについて正しくわかりやすくクイズを考えられた。(4名)
他の人が調べたことについてクイズを考えられた。(2名)

5 他の人が考えたクイズについて、意見を言えましたか。

他の人が考えたクイズについて、自分の意見(アドバイスなど)を言えた。(4名)
他の人が考えたクイズについて、自分の感想が言えた。(2名)

6 他の人を、手つだえましたか。

自分から積極的に他の人を手伝えた。(4名)
少しだけ他の人を手伝った。(2名)

話し合いや協力ができた。

7 今回の活動で、よかったことについて、書きましょう。

サンパウロのことがもっと知れた。

サンパウロのことがもっと分かった。

みんな話をまとめられた!!

相手の学校の人達が調べた事を問題にするから、沢山サンパウロのスライドを読み返して、今まで以上にサンパウロの事を知れたこと。

すぐに、みんなクイズを考えていたからすざいと思いました。

クイズの一つ作れたこととみんなで話し合っクイズを作ったこと。

クイズを、一つでも、みんなで話し合っ作ったこと。

8 今回の活動をふりかえって、感じたことや考えたことなどを書きましょう。

次は、クイズを楽しみたいようにしたいです。

質問をもっと書きたいです

沢山の意見を交わして、より良い発表、より良いクイズを作れてよかった。

少し、サンパウロのことが知れたことです。

いつもよりいっぱい話せたからとてもいいと思いました。

それぞれ、誰が次の時間までにクイズを考えればいいのかということが考えられた。

9 次の活動で、「やりたいこと」や「こうすればよいと思うこと」、「がんばりたいこと」などについて書きましょう。

スライドのことをどう発表するのか来週までの頑張りたいです。

質問を詳しくまとめたい!!

お互いの作ったクイズを出し合っ、文の修正、問題の修正をして今まで以上にいいクイズを作りたい。

もう少し、発言することです。

2、3、4問目を作ることと発表の練習をすること。

次、分からないことがあったら、人に聞く。

もっといいクイズを作り
発表会に向けて準備を進める!

【2月26日】「つながろう、サン・リオ発見プロジェクト」発表会
児童のふりかえりアンケートから

1 2 ①「総合的な学習の時間」は好きですか。

2/26（好き 60%、少し好き 40%） ↑

11/13（好き 40%、少し好き 40%、少しくらい 20%）

②それはどうしてですか。（理由）

- ・授業で調べられないことが調べられるから。
- ・いろいろなことを調べられるから。
- ・他の会ったことのない子と一緒に学習できたから。
- ・今回の目的は、全員で協力してできたから、楽しかった。
- ・みんなと話し合えるから。

1 3 ①友達と話し合ったり、力を合わせたりして学習することは好きですか。

2/26（好き 80%、少し好き 20%）

11/13（好き 80%、少し好き 20%）

②それはどうしてですか。（理由）

- ・話し合いが好きだから。
- ・みんなと意見が合うとうれしいから。
- ・相手がどんな意見をもっているのか知れるし新しい友達ができるから。
- ・自分だけでは、分からなかったことも、友達と話し合ったりすると、分かるようになるから。
- ・自分とは違う意見が出るから。

1 4 ①友達と話し合ったり、力を合わせたりして学習することは、今、自分でできていると感じますか。

2/26（できていると感じる 60%、できていると少し感じる 40%） ↑

11/13（できていると感じる 60%、できていると少し感じる 20%、
できているとあまり感じない 20%）

②それはどうしてですか。

できていると感じる理由

- ・話が合うから。
- ・今回の総合では、たくさん話し合っているいろいろな決めたから。
- ・協力してたくさん調べた。

できていると少し感じる理由

- ・あまり話せなかったけど協力できた。
- ・話して進まなかったら、ぼくが自分から言う時がたまにあるから。

1 6 ①サンパウロのことをどのくらい知っていますか。

2/26（よく知っている 40%、少し知っている 60%） ↑

11/13（少し知っている 40%、あまり知らない 20%、
ほとんど知らない 40%）

②それはどうしてですか。（理由）

よく知っている理由

- ・このサンパウロ日本人学校の人たちと一緒に調べたから。
- ・たくさん行ったことがあるから。

少し知っている

- ・今回の総合で、サンパウロの人たちは、サンパウロのカーニバルのことを調べてきてくれたから。
- ・日本人街があると聞いている。
- ・一回行ったことがあるし、サンパウロのご飯も食べたことがあるから。

17 12月2日からサンパウロ日本人学校の5年生とリオデジャネイロ日本人学校の3、4、6年生が、いっしょに協力して、話し合いながら「つながろう、サン・リオ発見プロジェクト」の活動をしてきました。活動全体をふりかえり、この活動をしてよかったことや感じたこと、考えたことなどについて書きましょう。

- ・みんなで話し合いや協力ができた。
- ・〇〇くんと〇〇くんと自然グループができてよかった。
- ・ぼくはカーニバルのことが全然知らなかったけどこの活動をやってみてほとんど分かりました、なのでもう一度やってみたらリオのことをもっと知れます。
- ・「つながろう、サン・リオ発見プロジェクト」の活動をしてきて、「協力してやる」というのは、楽しいし、大切なことなんだと思いました。
- ・今まで以上にサンパウロやリオデジャネイロのことを知れたこと。

<成果>○ 相手意識をもって活動できた。

- ・本校の総合的な学習の時間に、「つながろう、サン・リオ発見プロジェクト」で、サンパウロ日本人学校の5年生といっしょに協力して活動するには、どんなことをテーマにすればよいかを話し合うことができた。
- ・合同授業のグループ活動で、相手に情報や意見を伝えるだけでなく、相手が調べたことを聞いたり、まとめ方を見たりすることで、お互いに学び合うことができた。
- ・グループのメンバーと共有しているスライドを見ることで、合同授業以外でも活動状況がわかり、合同授業では、そのスライドをもとにして話し合うことができた。

○ コミュニケーション力が少しずつ高まってきた。

- ・最初、相手校の児童と話すことに消極的な傾向も見られたが、遠隔では、よりコミュニケーションに、工夫や努力が必要だと考えている。
- ・クイズの内容や順番などを話し合ったり、発表会の準備を進める場面では、子どもたち同士で積極的に話し合えるようになってきた。

- サンパウロやリオデジャネイロについてより知ることができた。
 - ・ サンパウロのことについて、11月には、「あまり知らない」「ほとんど知らない」と答えた児童が60%いたが、2月の発表会後のアンケートでは、「よく知っている」「少し知っている」が100%になった。この活動を通して、児童は、サンパウロのことを以前より知ることができたと感じている。また、自分たちのすむリオデジャネイロについても自分で調べたり、他の人が調べた内容についての発表を聞くことにより、もっと知ることができたと感じている。
- 相手の学校の児童と話しやすくなった。
 - ・ 合同授業を重ねるにつれ、グループでの話し合いもできるようになり、下の名前呼び合うようになるなど親しくなってきた。
- プレゼンを作るなどの ICT 技能が高まった。
 - ・ 情報検索、Google スライドの作成・編集などの技能が高まった。いろいろな教科学習や行事などでも Google スライドを使い、上手にまとめたり、プレゼンしたりできるようになってきた。

＜課題＞○ もっとコミュニケーション力を高めることが必要である。

- ・ 自分の意見を言ったり、相手の話を聞いたりすることは段々とできるようになってきたが、話し合いをしてまとめていく力は、子どもたちも自信が無く、十分ではない。
 - 経験を重ねるだけでなく、話し合いのスキルを高める活動を国語を中心として、いろいろな学習や行事などの活動で行う。もっとコミュニケーション（聞く、話す、話し合う）力を高める必要がある。
- もっと、子どもたちだけでの話し合えるようにしたい。
 - ・ もっと子どもたちの関係性を深め、話し合いのしやすい雰囲気づくりが必要である。
 - 本年度は12月から、SPの5年生との交流を始めたが、来年度は、年度当初から交流を始めたい。
 - ・ 話し合う目標や内容、方法がまだ不明確であるから、子どもたちの話し合いが進みにくい。
 - 合同授業の回数を増やすだけでなく、話し合う必然性のある場面を設定すると、より活発に話し合える。話し合いの目標や内容、方法について工夫が必要である。
- 「調べ、まとめ、発表する」活動から、「発信する、行動する」をめざす。
 - ・ 今年度の総合的な学習の時間は、合同授業で、「調べ、まとめ、発表する」活動をした。しかし、「発信し、行動する」活動まではできなかった。

→来年度は、それを発展させて、「調べ、まとめ、発表する」だけでなく、「発信する、行動する」をめざして、計画的に取り組みたい。

- 総合的な学習の時間だけでなく、他でも合同で取り組めることがある。
 - ・ 総合的な学習の時間で SP と協力して活動できたが、他の教科の学習でも効的に合同授業を工夫する必要がある。
 - 話し合いや合同授業が有効な場合について、教科の学習や道徳などいろいろな授業で取り組みたい。
 - 合同授業だけではなく、日頃授業でも合同授業を意識したり、合同授業の体験を生かしていくことができるのではないかな。

③SP・RJ 中学校部会合同授業「新型コロナウイルス調べ」

(RJ 中学 1 年、SP 中学 1・2 年 総合的な学習の時間)

目標：

- (単元) ○発表会を行い、プレゼンテーション能力を高める。
○サンパウロ日本人学校と協働して調べ学習を行い、協働的な学びを深める。

活動：6つの班に分かれて、個々に調べることを決め、班で調べ方や調べた内容の情報交換をしたり話し合ったりしてまとめ、班ごとに全体の発表会で発表する。

- 1 班 感染状況 (生徒 SP: 2 名、RJ: 中学 1 年 1 名) 担当: RJ 石井、渡邊
- 2 班 感染状況 (SP: 2 名) 担当: SP 真柄
- 3 班 他の感染症 (SP: 3 名) 担当: SP 竹治

- 4 班 コロナ禍の生活 (SP: 2 名) 担当: SP 金子
- 5 班 治療法 (SP: 2 名) 担当: SP 太田
- 6 班 コロナ禍の経済 (SP: 2 名) 担当: SP 松本

二学期中：班ごとにテーマを決め、個々で調べる内容を決める。

夏休み中 (12 月下旬～1 月初旬)：個々で調べる。

- 1 月 15 日 (金) 8:20～9:00 班活動① 班で Google スライドの作成を進める。
- 22 日 (金) 8:20～9:00 班活動② //
- 29 日 (金) 8:20～9:00 班活動③ //
- 2 月 5 日 (金) 8:20～9:00 班活動④ //
- 10 日 (水) 8:20～9:00 班活動⑤ 発表練習
- 19 日 (金) 8:20～9:00 全体会 研究授業 発表会

サンパウロ・リオ合同新型コロナウイルス調べ発表会

日時：2月19日（金）8:20～9:50

場所：サ日校 ZOOM 中1 教室

司会 前半（加治）

後半（杉本）

内容	担当者	目安の時間
1 あいさつ	司会	8:20
2 はじめのことば（1分）	生徒会長	8:20-8:21
3 校長先生の話（2分）	曾川校長先生	8:21-8:23
4 発表（各班8分、質疑応答2分）	時間計測（松本）	
・1班「感染状況」		8:23-8:33
・2班「感染状況」		8:34-8:44
・3班「他の感染症」		8:45-8:55
・4班「コロナ禍の生活」		8:56-9:06
（休憩 5分）		9:06-9:11
・5班「治療法」		9:11-9:21
・6班「コロナ禍の経済」		9:22-9:32
5 交流（10分）		9:33-9:43
6 講評（3分）	松本、リオの先生	9:44-9:47
7 おわりのことば（1分）	生徒会副会長 柿木	9:47-9:48
8 あいさつ	司会	9:49
9 ふりかえり		宿題

本校の生徒は、1班の「感染状況」グループに所属し、アジア州の日本やインド、台湾、シンガポール、インドネシア、中国、韓国、トルコ、イラン、アラブ首長国連邦などの感染状況や死亡者数について調べた。

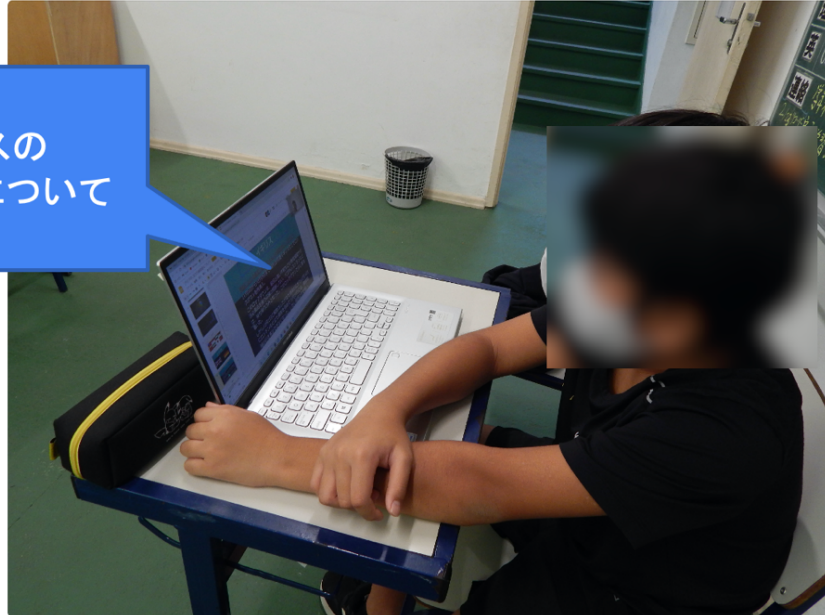
サンパウロ日本人学校の同じグループの生徒（2名）は、ヨーロッパ州（イギリス、ドイツ）、北アメリカ州（アメリカ合衆国）、南アメリカ州（アルゼンチン）について調べた。

それぞれ調べたことやまとめたことについて、情報交換するとともに、どのように調べるか、どのようにまとめるかを話し合っ、1班のグループ発表を行った。

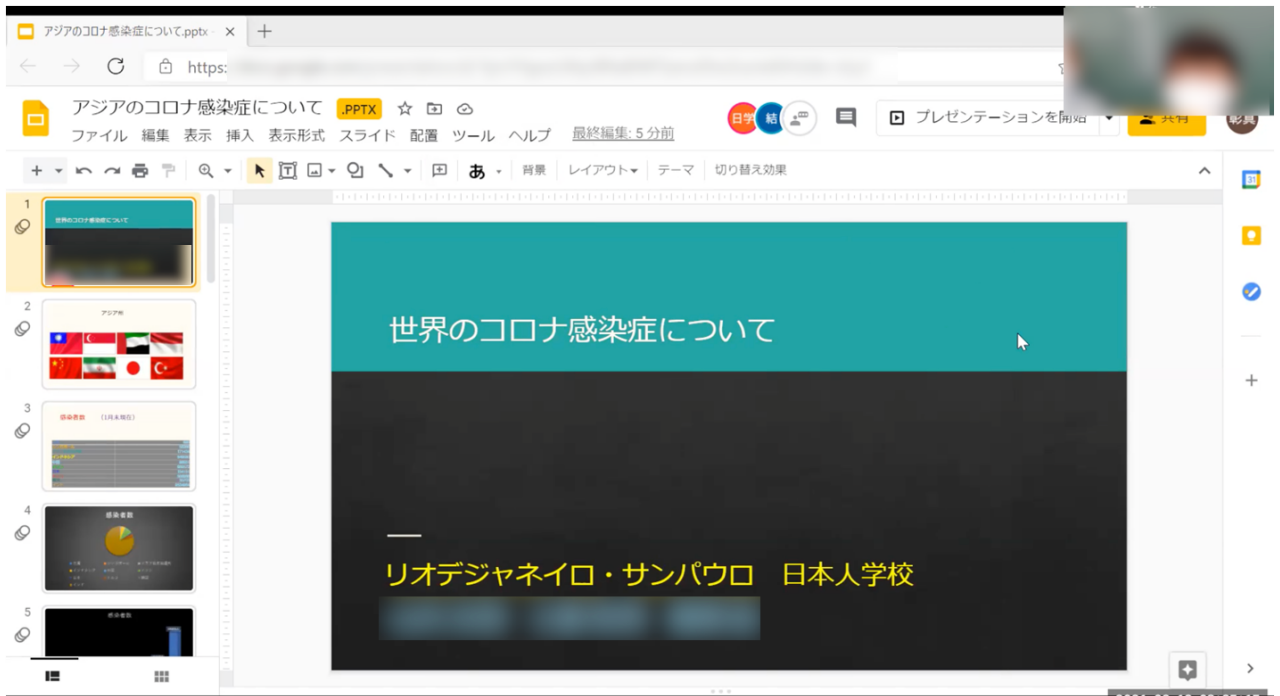
班活動の様子

サンパウロ日本人学校の生徒のまとめ方を参考に

イギリスの
感染状況について



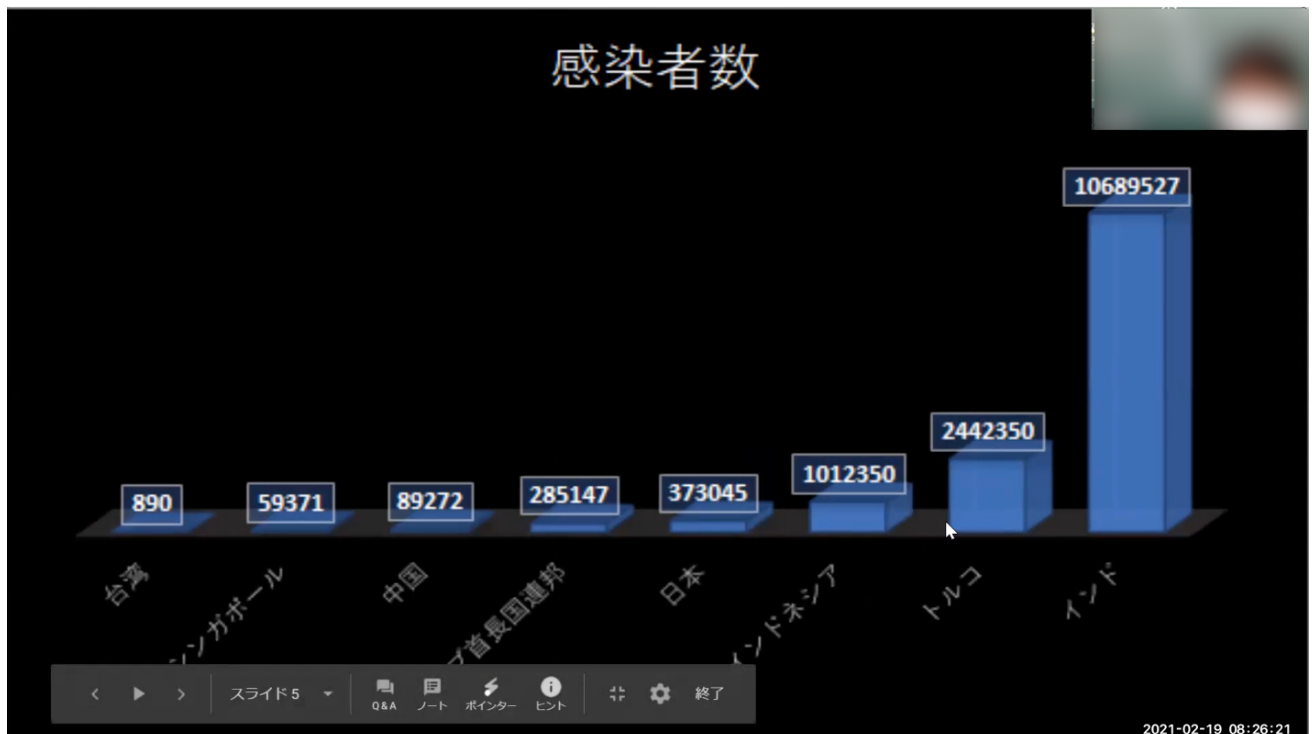
発表会のスライド①



発表会のスライド②（表：アジア州の感染者数）

感染者数（1月末現在）	
台湾	685
シンガポール	58266
アラブ首長国連邦	171434
インドネシア	549580
中国	86551
イラン	989572
日本	154151
トルコ	506966
韓国	35703
インド	10689527

発表会のスライド②（グラフ：アジア州の感染者数）



- ＜成果＞ ○ 1人の学級のため、多くの生徒と話し合う機会があった。
- ・サンパウロ日本人学校の生徒との交流を通して、中学生同士で話し合う経験ができた。緊張感をもって話したり、遠隔で伝えるための工夫をしたりできた。
 - ・班活動で、だんだんと親しくなり、いっしょに情報を伝えあったり、話し合いをすることで、相手の聞き方、話し方、話し合い方などを参考にし、自分の聞き方、話し方などのコミュニケーション力を高めることができた。
- 調べるサイトの情報を共有し、表やグラフでまとめるなど、アドバイスをもらいながら活動できた。
- ・最初は、別のサイトで感染者数を調べていたが、同じサイトで調べる方が良いと話し合い、情報源の統一をして、出典をはっきりさせることができた。
 - ・調べたことのまとめ方として、情報をバラバラに提示するのではなく、表にして整理することやグラフにして見やすくすることを話し合った。
 - ・単に感染者数を比較するだけでなく、人口あたりの感染率を比較することで、国の感染状況を比較できることに話し合いで気づいた。
- 発表会で、学び合うことができた。
- ・自分の班の発表を聞いてもらうだけでなく、他の班の発表を聞くことで、「新型コロナウイルス」についてのいろいろな情報を知ることができた。
 - ・サンパウロ日本人学校の生徒と質問や感想を交流することで、多様な意見に触れることができた。
 - ・その発表の仕方やまとめ方、質問や意見を言い合う様子を見たり聞いたりすることで、コミュニケーションの仕方について学ぶことができた。
- ＜課題＞ ○ 基礎となる力を高めていくこと。
- ・コミュニケーション力を高めていくには、国語科を中心としたコミュニケーションのスキルを高める学習と同時に学習を意欲的に進めていく基礎的な力を高めていく必要がある。
 - ・遠隔での活動を自主的に進めていくには、ICTを活用して「情報を検索する、読み取る、選択する、まとめる」ための力と「情報を発信する、コミュニケーションする」ための力が必要である。ICTを活用した情報活用能力を高めていく必要がある。
→基礎学力、コミュニケーションスキル、情報活用能力を計画的、効果的に高めていきたい。
- 発表前には、他の班の内容や進捗状況が分からない。
- ・各班内では、合同授業でそれぞれが情報共有できたが、他の班の内容や進捗状況については、発表会前には分からなかった。そのため、自分の班の

内容と重ならないかとか、関連はどうなっているかがわからなかった。また、まとめ方などが参考にできなかった。

→他の班の調べた内容やまとめ方について分かるように、共有フォルダを作って、調べた内容やプレゼン資料について情報共有したり、中間発表を行って、班の状況を報告し合うなどの方法もあるのではないかな。

- 総合的な学習の時間だけでなく、他の合同授業も増やしていきたい。
- ・ 今回の総合的な学習の時間の合同学習は、多くの成果があった。また、国語科の合同授業などの活動も数回できた。しかし、他の授業でも、合同授業が有効ではないかな。
- 総合的な学習だけでなく、他の授業でも合同授業が有効かどうか検討し、できるだけ実施できるようにしていく。
- サンパウロ日本人学校の先生方と協力して、合同授業の目標や内容、方法について工夫していく。

B 外部講師による職業人講話

日時：令和2年10月 7日（水）リオデジャネイロの日系企業の方による講話
10月14日（水）在リオデジャネイロ日本国総領事館の方による講話

- 目標：（１）働いている人から直接話を聞くことを通して、働くことの意義や勤労の尊さを体得させるとともに、働く人々の思いや考えを直接聞くことで、職業に対する興味・関心を高める。
- （２）これからの生活での目的意識をもたせるとともに、将来に向けてのより明確な進路希望や今後のより良い進路設計を考える態度をはぐくむ。
- （３）これからの進路設計に生かしていくために、職業に求められる資格や、実際に必要とされる知識や技能について理解させる。
- （４）働いている人との交流を通して、社会人としての基本的なマナーや言葉づかいを身に付けさせる。

- <成果> ○ 職業人から、仕事に関すること（仕事内容、仕事についた理由、必要な資格、知識・技能、やりがいや苦労）とこれからの学校生活で取り組むべきことについての話を聞き、直接に質問をして、自分の知りたいことを聞いたこと。
- この機会を通して、聞く態度や質問の仕方などのマナーを身につけることができた。
- 後日、本校のリオタイム発表会（総合的な学習の時間の発表会）で、聞いた内容などをまとめて、発表することができた。

＜課題＞ ○ オンラインでの講話で得たことも多いが、直接、職場で話を聞くことができれば、その職場の雰囲気を感じたり、より詳しく質問したり、他の方にも話を聞くことができたのではないかな。

C 本校の授業や行事

- ①入学式（式場と控室、各家庭を接続）
- ②オンライン授業（全員が1人1台の端末で各家庭から接続）
- ③オンライン授業（対面授業と1家庭を接続）児童生徒が、一時帰国や自粛期間で自宅にいる場合
- ④オンライン授業（教室にいる児童と教員を接続）教員が、一時帰国や自粛期間で自宅にいる場合
- ⑤オンライン授業（3つの教室を接続）児童会、委員会など
- ⑥オンライン授業（4つの教室と各家庭を接続）リオタイム報告会
- ⑦SP・RJ 低学年部会合同授業（対面授業とオンライン授業を接続）
- ⑧SP・RJ 高学年部会合同授業（4つの教室とオンライン授業を接続）

【各環境設定、課題と工夫】

- ①入学式（式場と控室、各家庭を接続）

＜配置図＞



＜課題と対策＞

- ・ オンライン会議アプリを使うのは初めての家庭が多く、事前に設定や説明、練習を個別に行ない、前日にリハーサルで接続した。

②オンライン授業（全員が1人1台の端末で各家庭から接続）

<配置図>



<課題と対策>

- ・住宅や部屋により、インターネット速度が異なり、不安定である。
- ・複数の人がオンライン授業を受けたり、オンラインで仕事をしているとつながりにくいことがある。

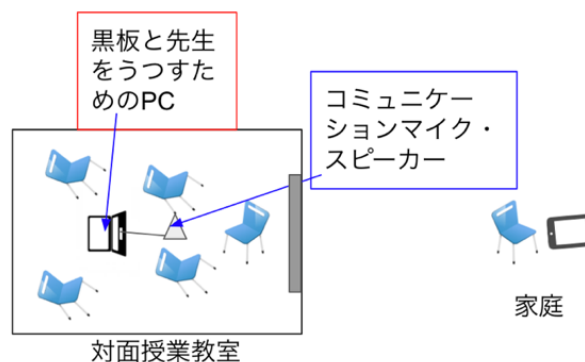
◇通信が切れた場合は、電話やSNSで保護者と連絡を取り合い、様子を聞いた。

◇動画など回線に負荷のかかるコンテンツは、授業後に宿題などで各自で見えるようにした。

◇ヘッドフォンやマイクを使用して、他の人の声などがじゃまにならないようにした。

③オンライン授業（対面授業と1家庭を接続）児童生徒が、一時帰国や自粛期間で自宅にいる場合

<配置図>

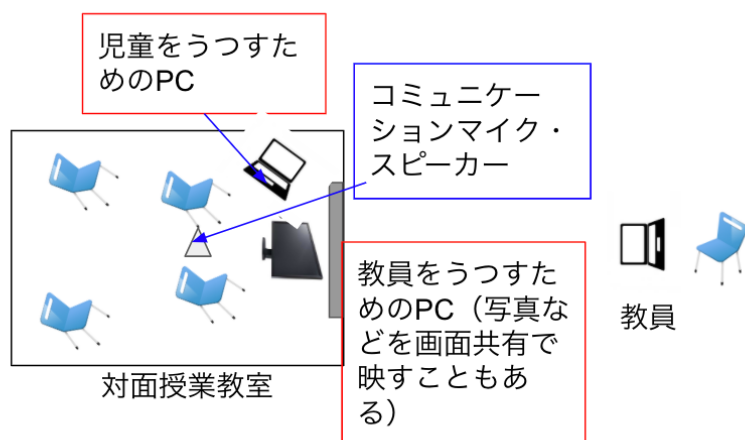


<課題と対策>

- ・対面授業の教室のみんなの声がノートパソコンのマイクでは入りにくい。
→コミュニケーションマイク・スピーカーを接続すると、みんなの声が入りやすく、家庭から接続している児童の声が聞こえやすかった。

④オンライン授業（教室にいる児童と教員を接続）教員が、一時帰国や自粛期間で自宅にいる場合

<配置図>

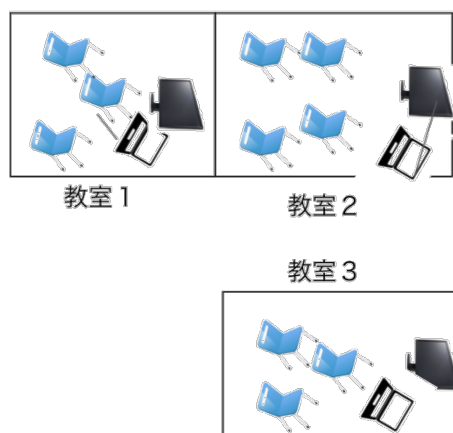


<課題と対策>

- ・児童全員の様子が見えにくい。
→教室のPCの方向と角度の調節と、児童の席の配置を工夫する。
先生に見せるときは、PCの前に出てくる。
- ・児童の声が聞こえにくい。
→コミュニケーションマイク・スピーカーを接続すると、児童の声が聞こえやすくなった。
- ・児童の作業の様子が把握できない。
→教室の児童が各自でiPadをもち、zoomに接続する。オーディオは使用しない。

⑤オンライン授業（3つの教室を接続）児童会、委員会など

<配置図>



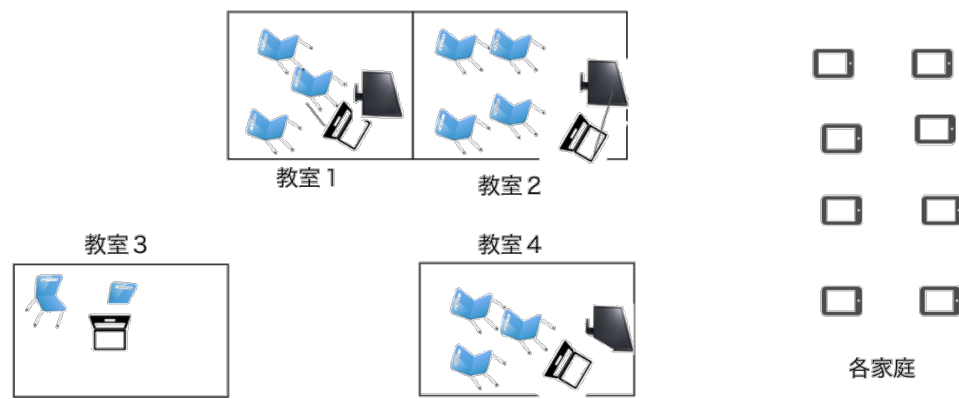
<課題と工夫>

- ・教室や廊下に声が響き、ハウリングしやすい。（新型コロナ対策のため、ドアは開けている。）
→できるだけ離れた教室を使用する。

- マイクに近づき、少し小さめの声で話す。
- オーディオは使用せず、聞こえる程度の声で話す。

⑥オンライン授業（４つの教室と各家庭を接続）リオタイム報告会

<配置図>

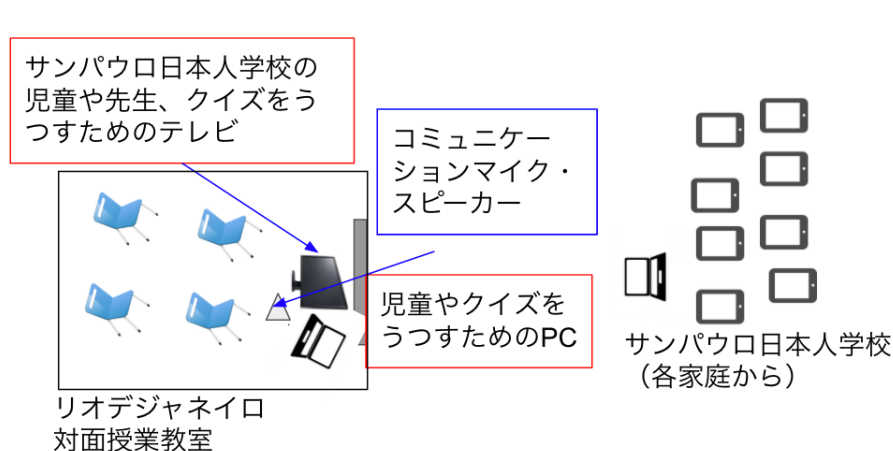


<課題と工夫>

- ・直接声がひびいて届くと、ハウリングを起こす。
→違う階の教室を使ったり、できるだけ教室を離れた。
- ・アンケート（感想など）をワークシートに手で書かせるか Google フォームで作って iPad などに記入させるか、検討した。
→各児童と教員は zoom に接続しない iPad 等を持ち、Google フォームで作ったアンケートに、発表が 1 人終わるごとに 3 分とり、記入して、最後に全体の感想を書いて、送信した。保護者にもアンケートに協力いただいた。記入がスムーズで、紙のアンケートより、集計が早く、子どもに早くフィードバックできた。

⑦SP・RJ 低学年部会合同授業（対面授業とオンライン授業を接続）

<配置図>



<課題と工夫>

- ・児童発表用に iPad を 1 台、zoom に接続しようと考えたが、ハウリングしたためできなかった。

→教室の前のノートパソコンのところまで行って、児童が発表した。

1人1台のiPadを机に用意できるように工夫したい。

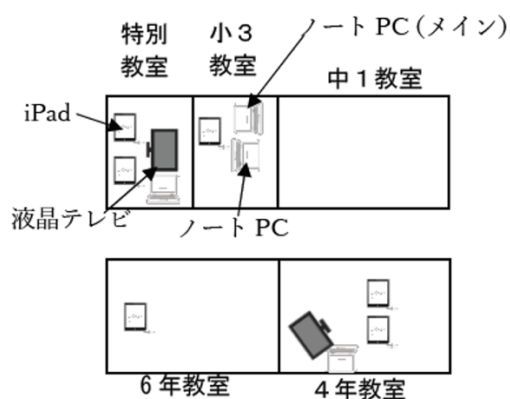
・マスクをつけているので、声が聞こえにくく、表情が分かりづらい。

⑧SP・RJ 高学年部会合同授業（4つの教室とオンライン授業を接続）

<配置図>

<RJ> 3つの教室での対面授業

<SP> 各家庭からのオンライン授業



<課題と工夫>

・1人1台のiPadを使いたかったが、インターネット回線状況が悪く、つながらなかったり、途中で接続が切れたりすることがあった。

→できるだけ、インターネット回線の負荷を下げるために、1教室1台だけをzoomに接続した。

・多くのiPadやPCを1つの教室でzoomに接続すると、ハウリングを起こしやすい。

→教室で1台だけは、オーディオを接続し、他はオーディオ接続しないようにすると、ハウリングはあまり起こらなかった。

＜遠隔研修＞

D サンパウロ日本人学校との担当者会議、合同研修会、各部会での話し合い

①SP・RJ 合同担当者会議

共通の研究主題「多様性を受け入れ、柔軟で豊かなコミュニケーション力を持ち、協働できる子どもの育成」を設定し、合同研修会を計画し、各部会での合同授業や研究授業、交流授業の方針等を話し合った。

②SP・RJ 合同研修会

両校の全員で、研究主題を確認し、研究について共通理解するとともに、各部会で話し合う機会となった。

③SP・RJ 各部会（低学年部会、高学年部会、中学校部会）

各部会で教育についての情報交換をするとともに、遠隔合同授業、研究授業、交流授業について話し合い、実践した。

E サンパウロ日本人学校との相互の授業見学

共有サーバーに、両校の時間割表を入れて情報共有して、オンラインでの授業見学をした。授業の方法や子どもたちの様子など、学ぶことが多かった。見学していただいた先生に授業の一部に参加していただくこともあった。授業見学をきっかけに、交流授業を行ったこともある。

F AG5 の4校合同研修会

後藤先生のコーディネート、岸先生からのご指導により、ピラミッド図などの思考ツールやグラフィックレコーディングなどについて研修したことや、サンパウロ日本人学校だけでなく、サンホセ日本人学校やアグアスカリエンテス日本人学校の先生方から学ぶことが多かった。

G 自校でのオンライン授業や行事についての情報交換、話し合い、研修等

コロナ禍で、4月から自校のオンライン授業が始まり、いろいろな課題が出てきたが、その都度、校内の先生方の情報交換や話し合いなどで解決していった。行事についても、オンラインを活用して、どのような方法でできるかを話し合い、試行錯誤しながら、実施することができた。

＜課題＞

- ・4月から10月中旬まで、全員が自宅などからのオンライン授業であったため、職員室で会話するように、すぐには情報共有したり、問題解決をすることができなかった。
→毎日の職員打ち合わせや職員会議に加え、遠隔教育に関する校内での情報交換の方法として「PMIQシート」を共有した。「PMIQシート」は、Google スプレッドシートで作成した。本校の教員で、遠隔授業に関する、「P（良い・分かったこと）、M（課題）、I（面白い・工夫）、Q（問い）」や「連絡板」に自由に記入し、情報を伝えたり、意見を交換したりするために使用した。これは、サンホセ日本人学校の実践を参考にした。1週間ごとに1シートとし、教員が、困った時や、解決方法が分かった時、

[illegible]

- 遠隔時間割表(セルをクリックすると、担当の先生の授業に接続できる。)

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	AA	AB	AC	AD	AE	AF															
	遠隔基本時間割（9月1日～）																																A週		リオデジャネイロ日本人学校												
	月						火						水						木						金																						
	1限	2限	3限	4限	5限	6限	1限	2限	3限	4限	5限	6限	1限	2限	3限	4限	5限	6限	1限	2限	3限	4限	5限	6限	1限	2限	3限	4限	5限	6限																	
小1	国語	国語	道徳	体育	算数	生活	生活	国語		国語	算数	書写	算数	音楽	国語	国語		国語	国語		算数	図工	図工	算数	国語	生活	体育	国語	生活	小1																	
小2	国語	国語	道徳	体育	算数	生活	生活	国語		国語	算数	書写	算数		国語	体育	音楽		国語	国語		算数	図工	図工	算数	国語	生活	体育	国語	生活	小2																
小3	算数	道徳	国語	体育	社会	理科	書写	国語	音楽	理科	国語	算数			算数	社会	総合	総合	算数	社会		国語	図工	図工	国語	算数	国語	体育	理科	生活	小3																
小4	社会	道徳	国語	体育	算数	図工	理科	理科	算数		書写	国語			国語	算数	体育	総合	総合	社会	国語	国語	音楽	算数	理科	国語	国語	算数	体育	社会	生活	小4															
小6	理科	理科	算数	体育	国語	図工	家庭	算数	外国語		算数	社会			国語	社会	体育	総合	総合	算数	外国語	社会	音楽	国語	書写	国語	算数	理科	体育	道徳	生活	小6															
中1	数学	国語	英語	体育	理科	理科	数学	音楽	理科	社会	英語	美術			国語	社会	体育	総合	総合	英語	数学	国語	道徳	体育	英語	数学	社会	英語	体育	国語	生活	中1															
中3	英語	数学	社会	体育	英語	英語	音楽	国語	理科	社会	美術	理科	▽B	理科	体育	総合	総合	理科	理科	数学	道徳	数学	社会	英語	国語	体育	数学	生活			中3																
	月						火						水						木						金																						
	1限	2限	3限	4限	5限	6限	1限	2限	3限	4限	5限	6限	1限	2限	3限	4限	5限	6限	1限	2限	3限	4限	5限	6限	1限	2限	3限	4限	5限	6限																	
小1	小1国	小1国	小1道		小1算	小1生	小1国	小1国	小1道	小1体	小1算		小1国	小1国	小1道			小1算	小1生	小1国	小1国	小1道	小1体	小1算	小1生	小1国	小1国	小1道	小1体	小1算	小1生																
小2	小2国	小2国	小2道	小2体	小2算	小2生	小2国	小2国	小2道	小2体	小2算	小2生	小2国	小2国	小2道	小2体	小2算	小2生	小2国	小2国	小2道	小2体	小2算	小2生	小2国	小2国	小2道	小2体	小2算	小2生	小2国	小2国	小2道	小2体	小2算	小2生											
小3	小3算	小3算	小3道	小3体	小3国	小3生	小3算	小3算	小3道	小3体	小3国	小3生	小3算	小3算	小3道	小3体	小3国	小3生	小3算	小3算	小3道	小3体	小3国	小3生	小3算	小3算	小3道	小3体	小3国	小3生	小3算	小3算	小3道	小3体	小3国	小3生											
小4	小4算	小4算	小4道	小4体	小4国	小4生	小4算	小4算	小4道	小4体	小4国	小4生	小4算	小4算	小4道	小4体	小4国	小4生	小4算	小4算	小4道	小4体	小4国	小4生	小4算	小4算	小4道	小4体	小4国	小4生	小4算	小4算	小4道	小4体	小4国	小4生											
小6	小6算	小6算	小6道	小6体	小6国	小6生	小6算	小6算	小6道	小6体	小6国	小6生	小6算	小6算	小6道	小6体	小6国	小6生	小6算	小6算	小6道	小6体	小6国	小6生	小6算	小6算	小6道	小6体	小6国	小6生	小6算	小6算	小6道	小6体	小6国	小6生											
中1	中1算	中1算	中1道	中1体	中1国	中1生	中1算	中1算	中1道	中1体	中1国	中1生	中1算	中1算	中1道	中1体	中1国	中1生	中1算	中1算	中1道	中1体	中1国	中1生	中1算	中1算	中1道	中1体	中1国	中1生	中1算	中1算	中1道	中1体	中1国	中1生											
中3	中3算				中3国	中3生			中3算	中3国	中3生	中3算	中3算	中3道	中3体	中3国	中3生	中3算	中3算	中3道	中3体	中3国	中3生	中3算	中3算	中3道	中3体	中3国	中3生	中3算	中3算	中3道	中3体	中3国	中3生												
中6					中6算	中6生			中6国	中6生			中6算	中6算	中6道	中6体	中6国	中6生	中6算	中6算	中6道	中6体	中6国	中6生	中6算	中6算	中6道	中6体	中6国	中6生	中6算	中6算	中6道	中6体	中6国	中6生											
中9									中9算	中9国	中9生			中9算	中9算	中9道	中9体	中9国	中9生	中9算	中9算	中9道	中9体	中9国	中9生	中9算	中9算	中9道	中9体	中9国	中9生	中9算	中9算	中9道	中9体	中9国	中9生										
中12																			中12算	中12国	中12生			中12算	中12算	中12道	中12体	中12国	中12生	中12算	中12算	中12道	中12体	中12国	中12生												
中15																																															
中18																																															
中21																																															
中24																																															
中27																																															
中30																																															
中33																																															
中36																																															
中39																																															
中42																																															
中45																																															
中48																																															
中51																																															
中54																																															
中57																																															
中60																																															
中63																																															
中66																																															
中69																																															
中72																																															
中75																																															
中78																																															
中81																																															
中84																																															
中87																																															
中90																																															
中93																																															
中96																																															
中99																																															
中102																																															
中105																																															
中108																																															
中111																																															
中114																																															
中117																																															
中120																																															
中123																																															
中126																																															
中129																																															
中132																																															
中135																																															
中138																																															
中141																																															
中144																																															
中147																																															
中150																										</																					

7. まとめ

本年度は、新型コロナの影響で、4月から本校では、オンライン授業を実施することになった。前年度からの積み上げもあり、遠隔授業を早期に開始することができた。サンパウロ日本人学校と一緒に、研究主題「多様性を受け入れ、柔軟で豊かなコミュニケーション力をもち、協働できる子どもの育成」を決定し、3つの部会に別れて合同授業を行うなどの実践ができた。子どもたちは、いろいろな意見を聞いて、話し合う機会が増えてきたことにより、少しずつではあるが、多様性を受け入れ、柔軟で豊かなコミュニケーション力を高めていっている。

また、数多くのオンライン授業をする中で、さまざまな遠隔授業の形態を行い、いろいろな課題が見えてきた。その一つ一つについて改善策を工夫していった。

今年度の本校の課題として、「子どもも教員も、もっと人間関係づくりが必要である」「相手に言う側の体験はできたが、みんなの話をまとめる側の体験は不十分である」「合同授業での活動が、調べて、まとめて、発表する活動で終わっている」「協働する場面づくりが不十分ではないか」などが挙げられる。

8. 次年度の計画

2年間の研究実践を踏まえて、サンパウロ日本人学校との合同授業を柱に、遠隔授業や遠隔研修について、研究実践していきたい。

例えば、

- ・朝の会など、ちょっとした時間の交流や、いろいろな教科等での合同授業をすること。
- ・総合的な学習の時間で、話し合い、まとめて、発表することから発信、行動につながる活動をする。
- ・遠隔授業についての情報やアイデアの交流をすること。
- ・日頃から子どもたちが話し合う機会を多くして、遠隔授業と対面授業と両方で、コミュニケーション力を高め、協働できるようしていくこと。

などである。

研究の3年目（最終年度）のまとめとして、他の学校でも使えるプログラム開発を、サンパウロ日本人学校と連携し、海外子女教育財団や岸先生のご指導やサポートしていきたい。

＜来年度の合同研究、合同研修の計画＞

- 4月 合同研修①：顔合わせ（全体、部会）、研究主題の共通理解、総合的な学習の計画について
- 5月 合同研修②：合同授業、研究授業について（各部会で、実施月、教科等の決定）
- 8月 合同研修③：合同授業、研究授業について（準備等）
- 9月 合同研修④：合同授業、研究授業について（準備、または振り返り）
- 10月 合同研修⑤：合同授業、研究授業について（準備、または振り返り）
- 11月 合同研修⑥：合同授業、研究授業、本年度の研究についての振り返り、まとめ
- 2月 合同研修⑦：合同研修：来年度の計画等

9. 所感

今年度は、コロナ禍と言うこともあり、まず、自校でのオンライン授業やオンラインでの行事に取り組んだ。教員みんなで試行錯誤しながらではあったが、昨年度の実践研究が基礎となり、4月当初からオンライン授業をスタートさせることができた。「学びを止めない」でオンラインで10月中旬までのオンライン授業を続けられた。

子どもたちが学校に登校できるようになってからも、新型コロナウイルス感染を防ぐために、子どもたちをいくつかの教室に分けオンラインで話し合ったり、各家庭と学校を結んでのオンライン行事を実施したりした。

また、サンパウロ日本人学校との連携では、共通の研究主題を決め、3つの部会で合同授業、研究授業を実施できた。子どもたちは、自校のオンライン授業とサンパウロ日本人学校との合同授業で、オンラインで「しっかり聞く」「しっかり話す」ことと、「話し合う」ことを経験できた。他の人といっしょに話し合う楽しさを体験できた。次に、いっしょに話し合い、行動する楽しさも味わわせたい。

しかし、接続形態も様々で、何をやるにしても、初めてのことが多く、話し合いや実験など試行錯誤の連続だった。課題も数多くあるが、その数多くの課題を見つけられたことやみんなで考え、行動できたことが成果だった。教員が意見を交換し、学び合うことができた。これを他の学校でも生かしてもらえる形にしたい。

AG5 研究の3年次には、今まで2年間の実践や研究を生かして、サンパウロ日本人学校との連携をより深めながら、学校全体で協力して、子どもたちのために、より充実した実践、研究をしていきたい。